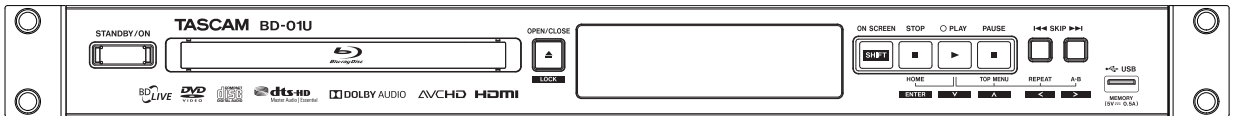


TASCAM

BD-01U

Blu-ray Disc Player

取扱説明書



安全上のご注意 必ずお読みください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 プラグを抜く	万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!! 異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。	 指示	電池は乳幼児の手の届かない所に置く 誤って飲み込むと窒息などの原因となります。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
 禁止	電源コードを傷つけない <ul style="list-style-type: none"> • 引っ張らない • ねじらない • 無理に曲げない • 束ねない • 加熱しない • 加工しない • 上にものをのせない コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。電源コードの心線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。	 禁止	タコ足配線をしない 火災の原因となります。
 AC100V	電源はAC(交流)100Vを使う AC(交流)100V以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。	 使用禁止	落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない 火災や感電の原因となります。
 禁止	異物を入れない(特にお子様にご注意を) トレー開閉口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。	 水ぬれ禁止	水でぬらさない 火災や感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。
 水ぬれ禁止	花瓶やコップ、植木鉢などを上に置かない 内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。	 禁止	可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない 清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。
 分解禁止	キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない 火災や感電の原因となります。また、レーザー光が目にあたると、視力障害をおこす原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。	 接触禁止	雷が鳴りだしたら、コード類や本体には触れない 感電の原因となります。
 禁止	不安定な場所には置かない ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。	 禁止	テレビなどの重いものを上に置かない <ul style="list-style-type: none"> • 上にのらない(特にお子様にご注意を) • トレーの前に物を置かない バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。
 プラグを持つ	電源プラグを持って抜く 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 禁止	<p>風通しの悪いところ、狭いところに置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> 本体後面の通気口をふさがない 押し入れや本棚などに押し込まない じゅうたんや布団の上に置かない テーブルクロスなどをかけない <p>内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。</p>	 指示	<p>この機器をコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする</p> <p>異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p>
 ほこりを取る	<p>電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する</p> <p>ほこりなどが付いたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。</p>	 使用禁止	<p>乾電池を充電しない</p> <p>充電式の電池は使用しない。</p>
 禁止	<p>接続したまま移動させない</p> <p>電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。また、ディスクは取り出しておいてください。</p>	 正しく使う	<p>乾電池は正しく使う</p> <ul style="list-style-type: none"> プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる 必ずマイナス(-)側から入れる 使いきったら、すぐに取り出す <p>間違えると、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。液が眼に入ったときは、すぐにきれいな水でよく洗ったあと、医師の治療を受けてください。</p>
 プラグを抜く	<p>長時間の外出や旅行のときは、電源プラグをコンセントから抜いておく</p> <p>火災の原因となることがあります。</p>	 指示	<p>長時間使用しないときは電池を取り出しておく</p> <p>液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。</p>
 指示	<p>オーディオ機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する</p> <p>また、接続は指定のケーブルを使用する</p>	 禁止	<p>乾電池は指定以外のものを使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> 種類の異なるものを混ぜて使わない 新しいものと古いものを混ぜて使わない <p>指定以外のものを使うと、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。液が眼に入ったときは、すぐにきれいな水でよく洗ったあと、医師の治療を受けてください。</p>
 注意	<p>電源を入れる前には、音量を最小にする</p> <p>突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。</p>	 禁止	<p>炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない</p> <p>本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。</p>

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき



注意

 禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。	 手はさみ注意	トレイ開閉口に手を入れない (特にお子様にご注意を) 手はさまれ、けがの原因となることがあります。万一、手はさまれたときは、無理に引き抜かず、電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
 禁止	乾電池は分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない	 指のけがに注意	お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行なう 感電の原因となることがあります。
 内部清掃	5年に一度は、内部の清掃を販売店に依頼する 内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。	 使用禁止	ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない 飛び散ってけがの原因となることがあります。

使用上のお願い 必ずお読みください

このたびは、TASCAM Blu-ray Disc Player BD-01Uをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)からダウンロードすることができます。

1

はじめに

■ 免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

取り扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- USB端子に異物を挿入しないでください。USBメモリーまたはUSBカードリーダー以外のものを接続しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。事故や破損の原因となります。
- 移動させるときは…
引越しや修理などで本機を運搬する場合は、必ず本機用の梱装箱とクッション材をご使用ください。
- 本機を立てた状態で輸送しないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいと故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

使用しないときは

ふだん使用しないときは…

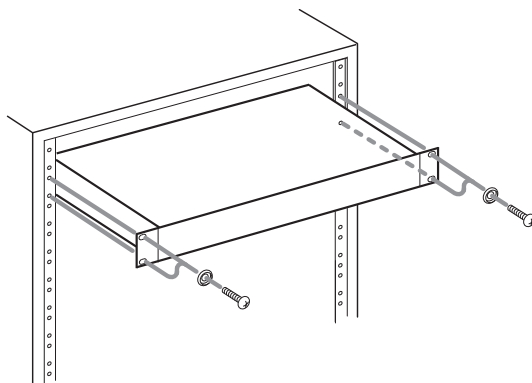
- ディスクを取り出し、電源を切ってください。

長期間使用しないときは…

- 電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがや故障の原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本製品の上に1U以上のスペースを空けてください。



- 本機を本棚など仕切りや壁がある家具に設置する場合は、通風のための十分な空間を確保してください。空間は本機上面から20cm以上、側面および背面から10cm以上を目安にしてください。本機の熱気を逃がすために、本機の上段の棚板と壁の間には、10cmの空間を確保してください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。
- 超音波式加湿器のそばに置かないでください。超音波式加湿器をご使用の場合、水質によっては水道水に含まれるカルキやミネラル成分がそのまま霧化され、本機内部に白い粉状のものが入り込んで故障の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

使用上のお願い 必ずお読みください・つづき

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体のよごれはやわらかい布(ガーゼ等)で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- お手入れの際、アルコール、ベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
- 洗剤を直接本機にかけないでください。水滴が内部に入ると、故障の原因になります。操作パネル部分の汚れは、柔らかいきれいな布(生地が起毛された綿素材など)で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときには、水で100倍以上に薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OAクリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど
- 油汚れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。(この処置を行ってもわずかに表面が変質することがあります。)



日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源仕様が異なり使えません。

This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

電源について

AC100V(50-60Hz)以外の電源には、接続しないでください。

- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

音量について

- 市販のBD-Video / DVD-Videoの中には、音量が音楽用CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

再生するときの制約

- 市販のBD-Video / DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の取扱説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に“⊙”が表示されることがあります。“⊙”が表示されたときは、その操作ができないことを示します。

結露(露付き)について

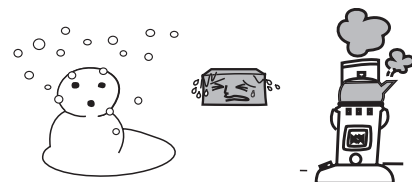
結露は本機やディスクを傷めます。よくお読みください。

- 例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。



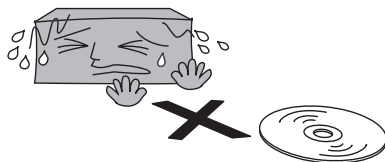
“結露”はこんなときに発生します。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房の効いた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき



結露が発生しそうなときは、本機をご使用にならないでください。

- 結露が発生した状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。時間を置いて、結露がなくなってからお使いください。



ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<http://tascam.jp/support/registration/>

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

廃棄の際は、所在自治体の条例または規則にしたがってください。


- 本機を廃棄・譲渡などする場合には、各種“初期化”(p.46)を行うことをおすすめします。また、お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどにディスクに保存されたデータなどが変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。


この取扱説明書について

本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。

- 「本機」、「本体」とは「お使いのプレーヤー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 本書では専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については「用語説明」(p.61)をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。

説明で使用するマークの意味

 **注意** 本機を使う際に、気をつけていただきたい情報です。

 **メモ** 本機を使う際の、補足説明やお知らせです。


■ 本機で使えるメディアの種類とフォーマット形式、ファイルのマーク一覧

マーク	メディア／ファイル(コンテンツ)に関する詳細
BD-Video	映画ソフトなど市販のBD-Videoディスク、またはBDMV形式の動画が記録されたBD-RE / BD-Rディスク
VR	VR方式の動画が記録されたDVD-RW / DVD-Rディスク
DVD-Video	映画ソフトなど市販のDVD-Videoディスク、またはVideo方式の動画が記録されたDVD-RW / DVD-Rディスク
AVCHD	AVCHD形式の動画が記録されたDVD-RW / DVD-Rディスク、SDカード*
JPEG	JPEG形式の静止画が記録されたBD-RE / BD-R / DVD-RW / DVD-R / CD-RW / CD-Rディスク、USBメモリー、SDカード*
CD	音楽用CD
MP3	MP3ファイルが記録されたBD-RE / BD-R / DVD-RW / DVD-R / CD-RW / CD-Rディスク、USBメモリー、SDカード*
WMA	Windows Media™ Audioファイルが記録されたBD-RE / BD-R / DVD-RW / DVD-R / CD-RW / CD-Rディスク、USBメモリー、SDカード*
WAV	WAVファイルが記録されたBD-RE / BD-R / DVD-RW / DVD-R / CD-RW / CD-Rディスク、USBメモリー、SDカード*

* USBカードリーダー（市販品）を本機に接続すると、SDカードに記録されたJPEGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイルやAVCHDファイルを再生することができます。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを**[SHIFT]**のように太字で表記します。リモコンの操作の説明には、のように実際のリモコンのイラストで表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“TRACK”のように“ ”で括って表記します。
- 「ブルーレイディスク」のことを「BD」と表記する場合があります。
- 「CD-DA」のことを「音楽用CD」と表記する場合があります。
- 「SD / miniSD / microSD / SDHC / miniSDHC / microSDHCメモリーカード」のことを総称して、「SDカード」と表記する場合があります。
- 「USBフラッシュドライブ」のことを「USBメモリー」と表記します。
- 「Windows Media™ Audio」のことを「WMA」と表記します。
- 本機で再生可能なMP3/WMA/WAVファイルを総称して「音楽ファイル」と表記する場合があります。
- MP3などの音楽ファイルやJPEGファイルを記録したCDを「データCD」と表記します。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付されております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が無償修理いたします。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録画内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番(BD-01U)
 - 製造番号(Serial No.)
 - 故障の症状(できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

もくじ

1 はじめに

安全上のご注意.....	2
使用上のごお願い.....	5
各部の紹介.....	10
リモコン.....	10
本体前面.....	11
本体ディスプレイ.....	12
本体背面.....	12

2 接続

本機をテレビやAVアンプにつなぐ.....	13
テレビとつなぐ.....	13
AVアンプとつなぐ.....	13
本機をネットワークにつなぐ.....	14
ハブまたはブロードバンドルーターを使って 接続する場合.....	15
本機を外部コントローラーとつなぐ.....	15
電源コードをつなぐ.....	15

3 基本設定

リモコンの準備.....	16
リモコンに乾電池を入れる.....	16
リモコンの使用について.....	16
本機の映像をテレビで見る.....	17
“初期設定”をする.....	18
HDMI機器制御機能を使う.....	19
ネットワークの設定をする.....	20
本機をネットワークに接続する.....	20
ネットワークを自動で設定する.....	20
ネットワークを手動で設定する.....	20
ソフトウェアを更新する.....	22
ディスクやUSBメモリーを使って更新する.....	22

4 操作をする前に

画面表示の見かた.....	23
ホームメニュー.....	23
表示されるアイコンについて.....	23
再生中の情報を表示する.....	24

5 使えるメディア

本機で使えるメディアについて.....	25
再生できるメディアとファイル.....	25
ディスクについて.....	25
USB機器について.....	26
SDカードについて.....	26
ディスクやUSBメモリーの記録構成について.....	27
ディスクの準備.....	28
ディスクを入れる.....	28
ディスクを取り出す.....	28
USB機器の準備.....	28
USB機器を接続する.....	28

付属品を確認する

の中に、チェックマーク(✓)を付けてご確認ください。
欠品などお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン…1個



単4形乾電池…2本
※リモコン動作確認用



取扱説明書(本書) …1冊

保証書 …1枚

ラックマウントビスケット
(ビス×4、ワッシャー×4) …1個

本製品には、保証書が添付されております。内容をご確認の上、大切に保管してください。製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

6 再生する

ディスクの映像や音楽を再生する.....	29
BD-Video、DVD-Video、AVCHDを再生する.....	29
DVD (VR)を再生する.....	30
種類の異なるファイルが入っている ディスクの映像を再生する.....	30
音楽用CDを再生する.....	31
再生開始位置について.....	31
いろいろな再生.....	32
早く見る／聞く(早送り／早戻し).....	32
音声付きで早く見る(早見再生).....	32
再生を一時的に止める(再生一時停止).....	32
ゆっくり見る(スロー再生).....	32
コマを進める(コマ送り).....	32
見たい／聞きたいところまでとばす(スキップ).....	32
再生を少し戻す(可変リプレイ).....	32
繰り返し再生する(リピート再生).....	33
A-Bリピートする.....	33
番号や時間を指定してとばす(サーチ).....	34
パワーオンプレイ機能を使う.....	34
再生中の各種設定切り換え.....	35
音声(言語)を切り換える.....	35
字幕(言語)を切り換える.....	35
再生映像のノイズを低減する(ノイズリダクション).....	36
再生映像の標準画質を鮮明な画質に補正する (超解像設定).....	36
カメラアングル(見る角度)や映像を切り換える.....	36
BD-Videoの子画面の切り換えをする.....	37
BD-Videoのバーチャル・パッケージを利用する.....	37
写真、音楽を再生する.....	38
ファイル一覧画面の見かた.....	39
本機で再生できるJPEGファイルについて.....	40
本機で再生できるMP3/WMAファイルについて.....	40
本機で再生できるWAVファイルについて.....	40
最大認識可能数について.....	40
再生についての補足説明.....	41

7 便利な機能

いろいろな設定を変える(設定メニュー).....	43
“本体設定”メニューを使う.....	43
“本体設定”メニューの項目と設定内容.....	43
“本体設定”メニューについての補足説明.....	47
BD-Video / DVD-Videoの視聴を制限する.....	48
BD-Live™の再生を制限する.....	48
パスワードを入力する.....	48
パスワードを変更する.....	48
パスワードをリセットする.....	48
ロック機能を使う.....	50

8 さまざまな情報

参考資料.....	51
アスペクト比(画面比)について.....	51
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報.....	52
著作権・登録商標について.....	52
仕様.....	54
困ったときは.....	56
おかしいな?と思ったときの調べかた.....	56
用語説明.....	61
さくいん.....	63

各部の紹介

リモコン

■ 乾電池の入れかたは (p.16) をご覧ください。



■ リモコン発光送信部

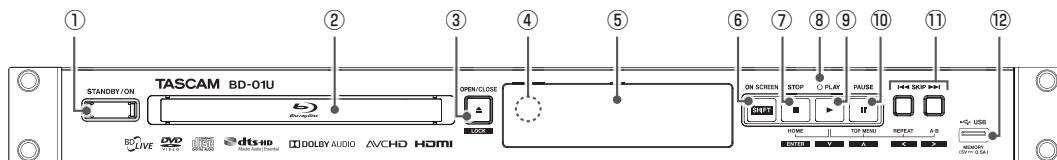
操作するとき、本体のリモコン受光部に向けます。



- 本機の電源を入/切する (p.17) → **STANDBY/ON** (電源ボタン)
- ホームメニュー画面を表示する (p.23) → **HOME** (ホームボタン)
- ディスクのトップメニューを表示する (p.29) → **TOP MENU** (トップメニューボタン)
- 項目を選ぶ、決定する → **ENTER** (決定ボタン)
- サーチメニューを表示する (p.34) → **MODE** (モードボタン)
- 再生中の音声を切り換える (p.35) → **RED** (赤ボタン)
- 再生中の字幕を切り換える (p.35) → **GREEN** (緑ボタン)
- リピートメニューを表示する (p.33) → **BLUE** (青ボタン)
- ノイズを低減する (p.36) → **YELLOW** (黄ボタン)
- 鮮明な画質に補正する (p.36) → **RED** (赤ボタン)
- アングルを切り換える (p.36) → **YELLOW** (黄ボタン)
- 本機の操作画面などで使用する → **RED** (赤ボタン)
- タイトル、チャプター、トラックまたはファイル番号を入力する → **1-9** (数字ボタン)
- サーチメニューを表示する (p.34) → **SEARCH** (サーチボタン)
- 再生を少し戻す (p.32) → **INSTANT REPLAY** (瞬間再生ボタン)
- ディスクトレイを開閉する* (p.28) → **OPEN/CLOSE** (開閉ボタン)
- ディスクのポップアップメニューを表示する (p.29) → **POP UP/MENU** (ポップアップメニューボタン)
- 各種設定画面などで1つ前の画面に戻る → **RETURN** (戻るボタン)
- スロー再生をする (p.32) 再生する* (p.29, 38) → **SLOW** (スロー再生ボタン)
- 早送り、早戻しをする (p.32) → **FAST FORWARD** (早送りボタン)
- 早見再生をする (p.32) → **FAST REVERSE** (早戻しボタン)
- コマ送りをする (p.32) → **SKIP** (コマ送りボタン)
- 一時停止する (p.32) → **PAUSE** (一時停止ボタン)
- 停止する (p.29, 38) → **STOP** (停止ボタン)
- 再生中の音声を切り換える (p.35) → **AUDIO** (音声ボタン)
- 再生中の字幕を切り換える (p.35) → **SUBTITLE** (字幕ボタン)
- 本体ディスプレイの輝度を変更する (p.12) → **DIMMER** (輝度ボタン)
- リピートメニューを表示する (p.33) → **REPEAT** (リピートボタン)
- A-Bリピートを設定する (p.33) → **A-B** (A-Bリピートボタン)
- 再生しているタイトルやファイルの情報を表示する (p.24) → **ON SCREEN** (オンスクリーンボタン)

※  または  でも本機を起動させることができます。

本体前面



- ① [STANDBY/ON]ボタン
本機の電源を入/切します。
- ② ディスクトレイ
- ③ [OPEN/CLOSE ▲]ボタン*
ディスクトレイを開閉します。(p.28)
- ④ リモコン受光部(p.16)
- ⑤ 本体ディスプレイ
- ⑥ [SHIFT]ボタン
- ⑦ [STOP ■]ボタン
- ⑧ 再生ランプ(緑色)
再生中に緑色で点灯します。
- ⑨ [PLAY ▶]ボタン*
- ⑩ [PAUSE ||]ボタン
- ⑪ [Skip ◀◀ / ▶▶]ボタン
- ⑫ USB端子
USB機器を接続します。(p.28)

※ このボタンでも本機を起動させることができます。

■ 本体ボタンの動作一覧

本体ボタンの組み合わせと動作の一覧を以下に示します。

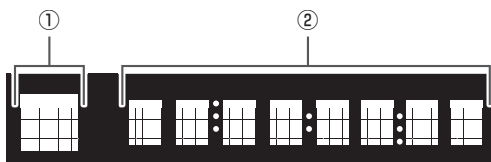
ボタンの組み合わせ		ボタンの状態	動作
OPEN/CLOSE ▲	—	短押し	ディスクトレイを開閉します(p.28)
SHIFT	—	短押し	画面表示します(p.24)
STOP ■	—	短押し	停止します(p.29、38)
PLAY ▶	—	短押し	再生します(p.29、38)
PAUSE	—	短押し	一時停止します(p.32)
SKIP ◀◀	—	短押し	スキップします(p.32)
SKIP ▶▶	—	短押し	スキップします(p.32)
STOP ■	—	長押し	"HDCPオート"を"入"に設定します(p.47)
PAUSE	—	長押し	HDMI解像度を初期化します
SKIP ◀◀	—	長押し	早戻しします(p.32)*1
SKIP ▶▶	—	長押し	早送りします(p.32)*2
SHIFT	OPEN/CLOSE ▲	同時押し	ロック設定を変更します(p.50)
SHIFT	STOP ■	同時押し	決定します
SHIFT	PLAY ▶	同時押し	▼(下)
SHIFT	PAUSE	同時押し	▲(上)
SHIFT	SKIP ◀◀	同時押し	◀(左)
SHIFT	SKIP ▶▶	同時押し	▶(右)
PLAY ▶	STOP ■	同時押し	ホームメニュー画面を表示します(p.23)
PLAY ▶	PAUSE	同時押し	ディスクのトップメニューを表示します(p.29)
PLAY ▶	SKIP ◀◀	同時押し	リピートメニューを表示します(p.33)
PLAY ▶	SKIP ▶▶	同時押し	A-Bリピートを設定します(p.33)

※1 ボタンを5秒押し続けた後、1秒ごとに1段階ずつ下がっていきます。

※2 ボタンを5秒押し続けた後、1秒ごとに1段階ずつ上がっていきます。

各部の紹介・つづき

本体ディスプレイ



① 再生の状態を表示します

- ▶ 再生中に表示します
- 停止中に表示します
- ⏸ 一時停止中に表示します
- ▶▶ 早送り中に表示します
- ◀◀ 早戻し中に表示します
- ▶ コマ送り再生中に表示します
- ◀◀ リPEATモード中に表示します

② 再生中のタイトル番号、経過時間などの情報を表示します。

表示の例

- ▶ 05: 00123 再生中のタイトル番号と経過時間を表示します
- ▶ T01 C05 サーチ完了時のタイトル番号とチャプター番号
- ◀ CHAPTER チャプターリピートモードで再生中です
- LOADING ディスクやUSB機器を読み込中です
- HOME ホームメニューを表示しています

本体ディスプレイの明るさを調節する

DIMMER

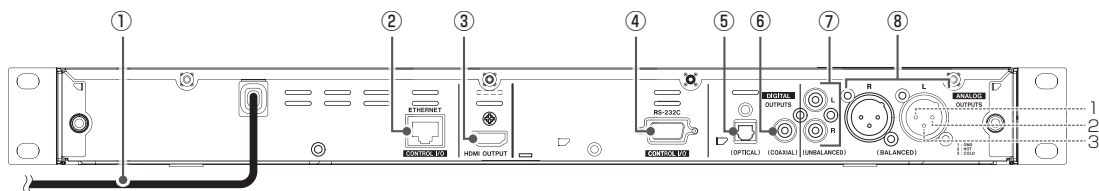
■ を押すたびに、本体表示部の設定を“自動”→“明”→“暗”→…と切り換えることができます。(p.46)

自動：再生中のみ本体表示部を暗くし、それ以外の場合は明るく表示します。

明：常に明るく表示します。

暗：常に暗く表示します

本体背面



① 電源コード

必要な接続が終わってからつなぎます。(p.15)

② ETHERNET端子※

イーサネット端子です。ネットワーク接続し、BD-Live™ 機能の利用や外部から本機を制御するときに使用します。

③ HDMI OUTPUT端子

テレビやAVアンプのHDMI入力端子と接続します。(p.13)

④ RS-232C端子※

D-Sub 9ピンのRS-232Cコントロール用I/O端子です。パソコンなどの外部コントローラーと接続します。(p.15)

⑤ DIGITAL OUTPUTS (OPTICAL)端子

デジタルオーディオ機器と市販のオーディオ用光デジタルケーブルで接続します。

⑥ DIGITAL OUTPUTS (COAXIAL)端子

デジタルオーディオ機器と市販のオーディオ用同軸デジタルケーブルで接続します。

⑦ ANALOG OUTPUTS (UNBALANCED)端子

アナログオーディオ機器とRCA(アンバランス)ケーブルで接続します。

⑧ ANALOG OUTPUTS (BALANCED)端子

アナログオーディオ機器とXLR(バランス)ケーブルで接続します。
(1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)

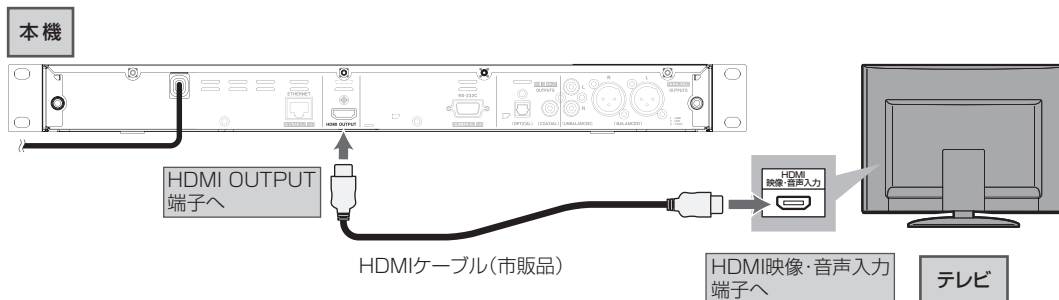
※ ETHERNET端子、RS-232C端子を使用して、外部から専用プロトコルにより本機の操作が可能です。

ご注意

- 本体内部の放熱をよくするために、本体と壁やテレビ台などの周辺物との間は、適度な空間を空けてください。(p.5)

本機をテレビやAVアンプにつなぐ

テレビにつなぐ

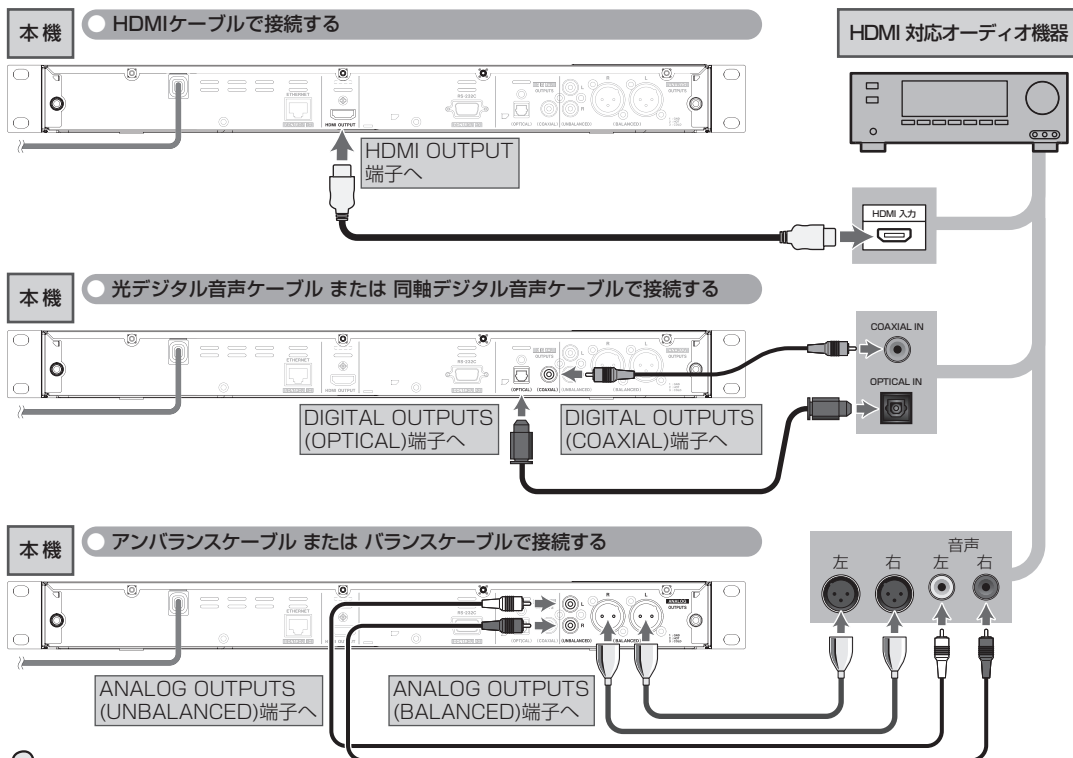


2

接続

AVアンプにつなぐ

PCM7.1ch対応のアンプと接続すると、BD-Videoの7.1ch音声を楽しむことができます。また、Dolby Audio - Dolby Digital Plus, Dolby Audio - Dolby TrueHD, DTS-HD[®]の各音声を出力できるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。(この接続をした場合、テレビから音声がでないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。詳しくは、AVアンプやテレビの取扱説明書をご覧ください。)



ご注意

- HDMIケーブルは、HDMI規格に準拠したHDMIロゴのあるHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。
- HDMIケーブルは、コネクター部の大きさや形状によって接続できないことがあります。
- HDCPIに対応していないテレビに接続すると、映像が正しく表示されないことがあります。
- 本機とAVアンプを接続したときは、準備完了後、接続した機器に合わせて **HOME** → “本体設定” → “HDMI設定” → “音声出力設定” の設定を変更してください。(p.44)
- 本機のHDMI端子をAV機器またはAVシステムコントローラー以外と接続しないでください。
- 本機のHDMI端子から電源供給を受けて使用するHDMIセレクタやHDMI中継器などの動作は保証できません。
- 接続するHDMI機器によっては、WAV音声がANALOG OUTPUTS(BALANCED/UNBALANCED)から正しく出力されない場合があります。**HOME** → “本体設定” → “HDMI設定” → “音声出力設定”を“切”に設定するか、96kHz対応のHDMI機器と接続してください。

本機をネットワークにつなぐ

ブロードバンド環境をお持ちの場合は、インターネットを利用してBD-Live™機能が楽しめるようになります。

■すでにブロードバンド環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
 - 回線業者やプロバイダーとの契約
 - 必要な機器の準備
 - ADSL モデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSL モデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も併せてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付き ADSL モデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ADSL 回線をご利用の場合は
 - ブリッジ型 ADSL モデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
 - USB 接続の ADSL モデムなどをお使いの場合は、ADSL 事業者にご相談ください。
 - プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
 - ADSL モデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
 - ADSL の接続については専門知識が必要なため、ADSL 事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線業者へお問い合わせください。

■ブロードバンド環境をお持ちでない場合は

- インターネットを利用する場合は、プロバイダーおよび回線業者と別途ご契約（有料）する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線業者にお問い合わせください。

🔔 ご注意

- 本機をネットワーク接続したときは、ネットワーク接続の設定が必要です。(p.20)
- LAN ケーブルは、カテゴリ 5 以上対応のストレートケーブル(市販品)をご使用ください。
- 本機からはインターネットを使用してウェブサイトを開覧することはできません。

🔑 メモ

- ブロードバンドルーターなどの設定で本機の MAC アドレスが必要な場合は、**HOME** → “本体設定” → “ネットワーク設定” → “ネットワークステータス表示” 画面で確認できます。(p.46)

■BD-Live™について

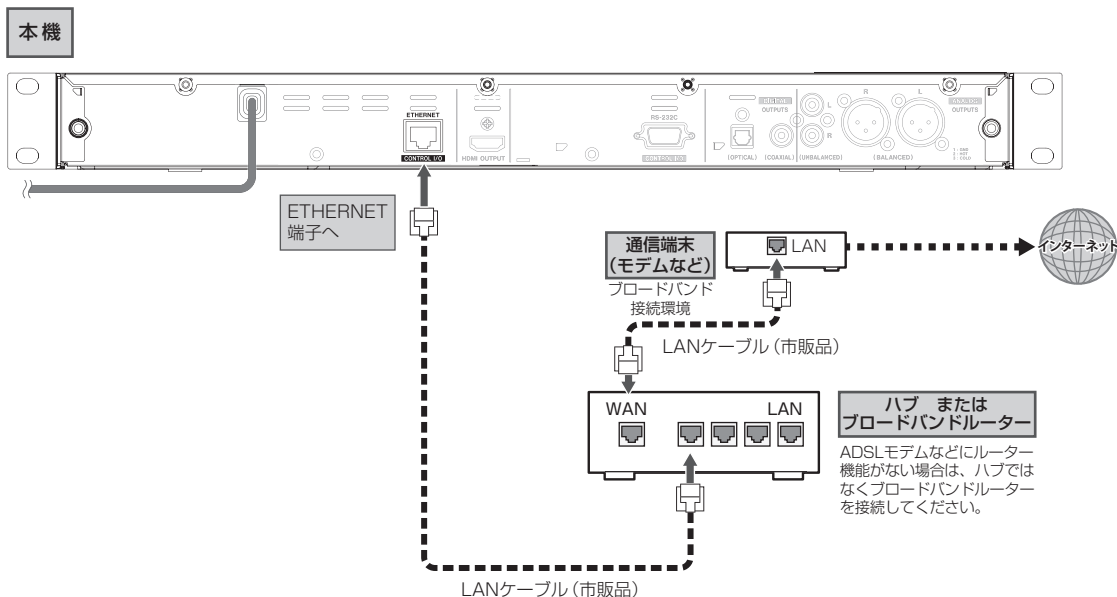
本機は、BD-Live™機能付きのBD-Video(BD-ROM Profile 2.0)に対応しています。

本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。

- BD-Live™で利用できる様々な機能は、ディスクにより異なります。くわしい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live™機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定を行ってください。接続のしかたについては「ハブまたはブロードバンドルーターを使って接続する場合」(p.15)を、設定のしかたについては「ネットワークの設定をする」(p.20)をご覧ください。
- ディスクによっては、“BD-Live 接続設定” (p.46)を変更する必要があります。
- “BD-Live 接続設定”が“無効”に設定されている場合は、BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスができません。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できなかったりする場合があります。
- BD-Live™対応ディスクの再生中、本機またはディスクの識別IDがコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、“BD-Live 接続設定” (p.46)を変更してください。

本機をネットワークにつなぐ・つづき

ハブまたはブロードバンドルーターを使って接続する場合



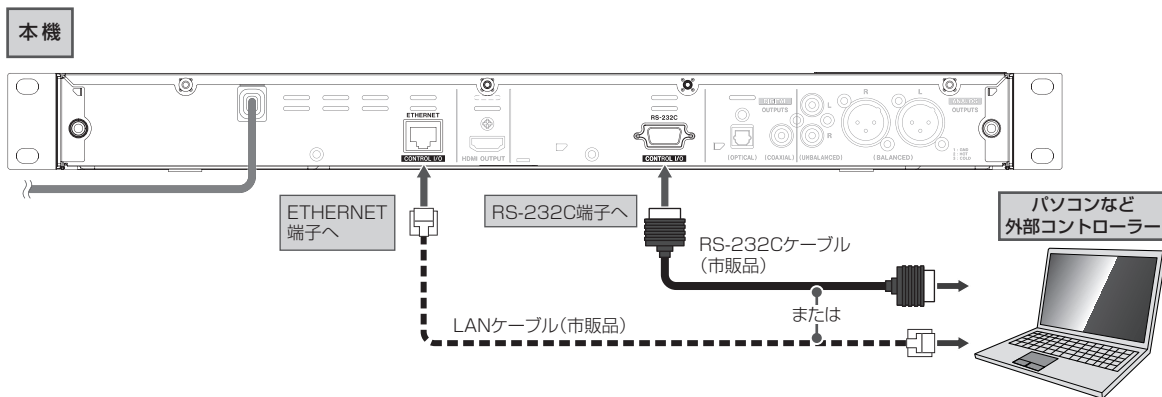
2

接続

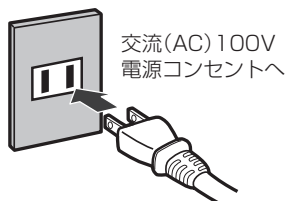
本機を外部コントローラーとつなぐ

本機のRS-232C端子とパソコンのRS-232CポートをRS-232Cケーブルで接続したり、本機のETHERNET端子とパソコンのLAN端子をLANケーブルで接続することで、外部から本機を操作することができます。本機のETHERNETおよびRS-232Cの通信コマンドプロトコルについては、タスカム カスタマーサポート(巻末に記載)までお問い合わせください。

- 外部コントローラーは本機が見えるなど本機の状態が容易に分かる位置から操作してください。



電源コードをつなぐ



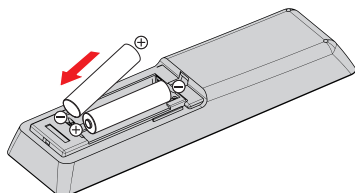
1 すべての接続が終わったら、電源コードをつなぐ

- 電源プラグを交流(AC)100Vの電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になります。

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れる

- 1 リモコン裏面のフタをはずす
- 2 「-」側を先に入れたあと、「+」側を入れる
 - 付属の単4形乾電池(1.5V 2本)をお使いください。

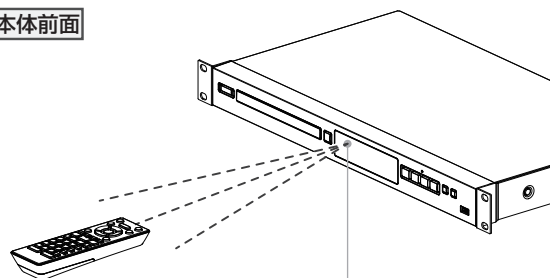


- 3 リモコン裏面のフタを取り付ける

リモコンの使用について

リモコンをまっすぐに本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

本体前面



動作距離
正面:7メートル以内
左右15度以内:5メートル以内

リモコン受光部

※ リモコン受光部に直射日光や強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

ご注意

リモコンの乾電池について

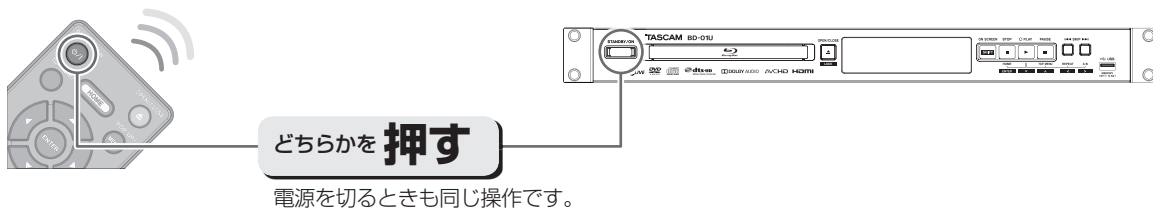
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
 - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- 公称電圧1.5Vを超える電池などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- 本機のリモコンは単4のマンガン乾電池または、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例にしたがって処理してください。

リモコンの取り扱いについて

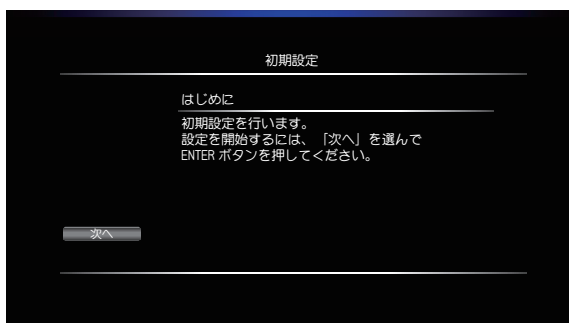
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

本機の映像をテレビで見る

- 1 テレビの電源を入れる
- 2 テレビの入力切換で、本機が接続されているHDMI入力に切り換える
- 3 本機の電源を入れる



■ 以下の画面が表示されたときは



- “初期設定” (p.18)を行ってください。

“初期設定”をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に“初期設定”画面が表示されます。画面の案内やガイドにしたがって、次の順で設定してください。

🔔 ご注意

- “初期設定”実行中は、電源プラグを抜いたり電源を切ったりしないでください。

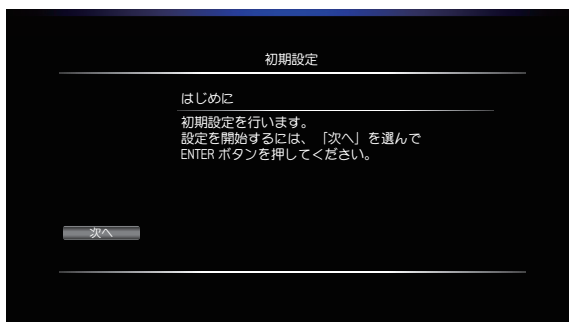
🔧 準備

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、本機が接続されている入力に切り換える

1 🏠 を押して本機の電源を入れる

🗨️ メモ

- “初期設定”の開始画面が表示されます。



2 “次へ”が選ばれているので、そのまま **ENTER** を押す

画面表示言語を選択する

3 ▲/▼で画面に表示する言語を選び、**ENTER** を押す

“日本語”：画面に表示される言語が日本語になります。

“English”：画面に表示される言語が英語になります。

未使用時自動電源オフ機能を設定する

4 ▲/▼で未使用時に自動的に電源をオフするかどうかを選び、**ENTER** を押す

“入”：本機を停止しているときに無操作状態が20分続くと自動的に電源をオフします。

“切”：本機能を利用しません。

終了する

5 “終了”が選ばれているので、そのまま **ENTER** を押す

- ホーム画面が表示されます。

HDMI機器制御機能を使う


HDMI機器制御機能とは？

HDMI CEC対応機器(本機など)とHDMI CEC対応テレビをHDMIケーブルでつなぐことで、機器とテレビの連動操作が行えるようになる機能のことです。本機では、HDMI機器制御機能を使用することで以下のようなことが可能になります。

- 本機の電源を入れて以下のボタンを押すと、テレビが自動的に本機が接続されているHDMI入力に切り換わります。



※  は、本機にBD-VideoまたはDVD-Video、AVCHDが記録されたディスクが入っているときのみ有効です。

-  を2秒以上押すと、本機とテレビの電源が切れます。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

HDMI機器制御機能を使うには、以下の手順を行って“HDMI機器制御”の設定を“入”にしてください。

準備

- 本機とHDMI CEC対応テレビをつないでおく(接続のしかたは「本機をテレビやAVアンプにつなぐ」(p.13)をご覧ください。)
- テレビ側でHDMI機器制御の設定をしておく(詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。)

- 1  を押し、“本体設定” → “HDMI設定” → “HDMI機器制御” → “入”の順に選び、
 を押す

ご注意

- 接続するテレビにより操作できる機能は異なります。すべてのHDMI CEC対応テレビとの連動動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは“HDMI機器制御”を“切”にしてください。

ネットワークの設定をする

BD-Live™機能をブロードバンド経由で利用するための設定を行います。

準備

- 本機をネットワークにつなぐ(p.14)

本機をネットワークに接続する

- 1 **HOME** を押し、ホームメニュー画面を表示する
- 2 **▲/▼/◀/▶** で“本体設定”を選び、**ENTER** を押す
- 3 **▲/▼** で“ネットワーク設定”を選び、**ENTER** を押す
- 4 **▲/▼** で“ネットワーク接続設定”を選び、**ENTER** を押す
- 5 **▲/▼** で“設定開始”を選び、**ENTER** を押す
- 6 **▲/▼** で“自動”または“手動”を選び、**ENTER** を押す

以下の設定を行ってください。

“自動”：「ネットワークを自動で設定する」(本ページ)へ進んでください。

“手動”：IPアドレスを自動で割り振る機能がないルーターをお使いの場合は、「ネットワークを手動で設定する」(本ページ)へ進んでください。

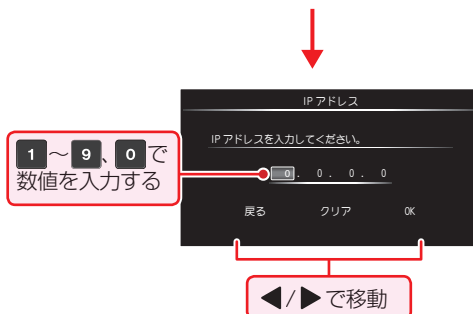
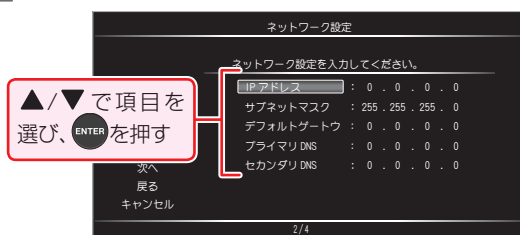
ネットワークを自動で設定する

“ネットワーク接続設定”の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。すでに設定済みの場合は、新しく取得された設定値に更新されます。(プロキシの設定はクリアされます。)

- 1 **▲/▼** で“自動”を選び、**ENTER** を押す
 - 自動的に各項目が設定され、ネットワークの設定が完了します。
- 2 “終了”が選ばれているので、**ENTER** を押す

ネットワークを手動で設定する

- 1 **▲/▼** で“手動”を選び、**ENTER** を押す
- 2 各項目に数値を入力する



- 入力を終えたら、**▲/▼/◀/▶** で“OK”を選び、**ENTER** を押ししてください。

IPアドレス：

ネットワーク接続している他の機器(パソコンなど)に設定されているIPアドレスの最後の数値を、本機以外の機器で使われていない数値に変更して入力してください(0～255の範囲で入力可能です。)

(例) 他の機器のIPアドレス設定が

“192.168.10.12”のときは、

“192.168.10.223”(223の部分は12以外のお好みの数値)で設定してください。

サブネットマスク：

他の接続機器と同じ数値を入力してください。

デフォルトゲートウェイ：

他の接続機器と同じ数値を入力してください。

プライマリDNS：

他の接続機器の優先DNSサーバーと同じ数値を設定してください。

セカンダリDNS：

他の接続機器の代替DNSサーバーと同じ数値を設定してください。

3 ◀で“次へ”を選び、**ENTER**を押す

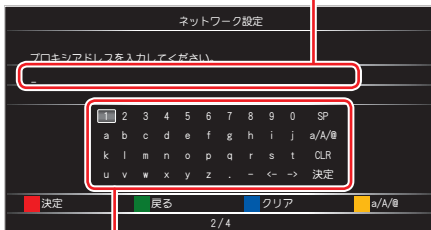
4 プロキシ設定が必要な場合は▲/▼で“はい”を選び、手順5に進む

不要な場合は▲/▼で“いいえ”を選び、手順6に進む

5 プロキシアドレスとプロキシポート番号を設定する

① プロキシアドレスを入力する

ここに入力したアドレスが表示されます。

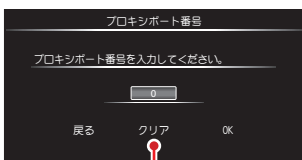


▲/▼/◀/▶で文字を選び、**ENTER**を押す

"SP"	スペースを挿入します。
"a/A/@"	小文字/大文字/特殊文字(!/?など)を切り換えることができます。 YELLOW を押しても同じ操作ができます。
"CLR"	入力した文字を削除します。 BLUE を押しても同じ操作ができます。
"<-"	カーソルを左に移動します。
"->"	カーソルを右に移動します。
"決定"	入力を完了し、次の画面へ進みます。 RED を押しても同じ操作ができます。

- 入力できるのは、英数字と記号のみです。
- GREEN を押すと、前の画面に戻ります。

② 1～9、0でプロバイダーが指定したポート番号を入力し、**ENTER**を押す



1～9、0で数値を入力する

- 入力を終えたら、▲/▼/◀/▶で“OK”を選び、**ENTER**を押してください。

6 ▲/▼で“はい”を選んで **ENTER** を押し、接続テストを開始する

- 接続テスト終了後にテスト結果が表示されます。
- “終了”が選ばれているので、**ENTER**を押してください。

ネットワーク接続ができていないときは

- “失敗”が表示されます。ネットワークの接続状態やネットワーク設定で入力された数値が正しいかご確認ください。
- “やり直し”を選んで **ENTER** を押すと、もう一度接続テストが始まります。
- “戻る”を選んで **ENTER** を押すと、手順2からの設定をやり直すことができます。

メモ

- プロバイダーから指示があるときは、プロキシアドレスとプロキシポート番号の設定を行ってください。
- プロキシアドレスとは？
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーから指定されるアドレスを入力します。(例：proxy_server.ne.jp)
- プロキシポート番号とは？
プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。(例：8000)

ソフトウェアを更新する

ご購入後も本機をより快適にご利用いただくために、本体ソフトウェア(ファームウェア)の更新版が公開されることがあります。本体ソフトウェア(ファームウェア)の更新版が公開された場合は、ディスク、USBメモリーを利用して、更新することができます。

ディスクやUSBメモリーを使って更新する

ディスクやUSBメモリーに最新の本体ソフトウェア(ファームウェア)をダウンロードし、更新します。

準備

- 記録可能なディスクまたはUSBメモリーを準備する
 - BD-RE / BD-R / DVD-RW / DVD-R / CD-RW / CD-R のディスクがご使用いただけます。
- TASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)から最新のソフトウェアをダウンロードし、ディスクまたはUSBメモリーに保存しておく
 - 本体ソフトウェア(ファームウェア)は、ディスクまたはUSBメモリーに1つだけ保存してください。
 - 本体ソフトウェア(ファームウェア)は、ディスクまたはUSBメモリーの第一階層に保存してください。
 - ダウンロード方法の詳細については、上記のウェブサイトをご覧ください。

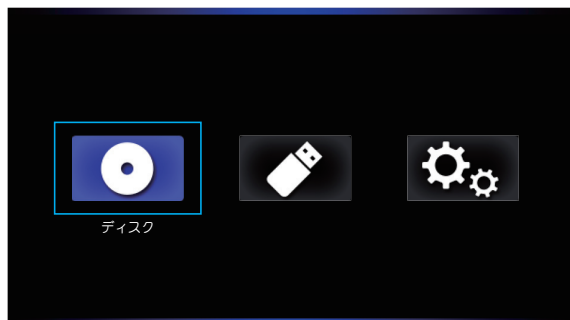
- 1 **HOME** を押し、“本体設定” → “その他設定” → “ソフトウェア更新”の順に選び、**ENTER** を押す
- 2 ▲/▼で“USB”または“ディスク”を選び、**ENTER** を押す
- 3 ◀/▶で“はい”を選び、**ENTER** を押す
- 4 ディスクを入れる、またはUSBメモリーを接続する
- 5 確認メッセージが表示されるので、◀/▶で“はい”を選び、**ENTER** を押す
 - 本体ソフトウェア(ファームウェア)の更新が開始され、完了後に自動で本機が再起動します。

ご注意

- 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。また、USBメモリーによる更新中は、USBメモリーも抜かないでください。
- 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新中は、ディスクトレイの開閉ができません。
- 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新後は、本書と本機で画面や動作の一部が一致しなくなることがあります。

画面表示の見かた

ホームメニュー



本機の電源を入れたときは、ホームメニュー画面が表示されます。ホームメニューから再生したいメディアを選択したり、さまざまな機能の設定を行うことができます。

- 他の画面を表示しているときに、**HOME** を押すとホームメニュー画面に切り換わります。(再生中は、再生を停止してホームメニュー画面に切り換わります。)

項目	内容
ディスク	ディスクに記録されているコンテンツを再生します。
USB	USB機器のコンテンツを再生します。
本体設定	さまざまな機能の設定を行います。詳しくは、「いろいろな設定を変える(設定メニュー)」(p.43)をご覧ください。

表示されるアイコンについて

メディアの出し入れ

	ディスクトレイ開
	ディスクトレイ閉
	ディスク、USB機器の読み込み中

メディアの種類

	ディスク
	USB機器

フォーマット形式とファイル

		BD-RE / BD-R
		BD-Video
		BDMV
		DVD-RW / DVD-R
		DVD-Video
		VRモード (オリジナル)
		VRモード (プレイリスト)
		音楽用CD
		データCD
		AVCHD形式のファイル

ファイル情報

	タイトル
	チャプター
	トラック
	フォルダー
	再生時間
	静止画のファイル名
	音楽ファイルの曲名
	音楽ファイルのアーティスト名
	音楽ファイルのアルバム名

主な動作

	停止
	レジューム つづき再生の停止 (レジュームポイント設定状態)
	再生
	再生一時停止
	早見再生 (音声付き早送り)
	早送り
	早戻し
	スロー再生
	正方向のスキップ
	逆方向のスキップ
	可変リプレイ

その他

	アングル
	タイトルリピート
	チャプターリピート
	トラックリピート
	オールリピート
	フォルダーリピート
	ランダムリピート
	A-Bリピート

注意

- テレビ画面に“”が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

画面表示の見かた・つづき

再生中の情報を表示する

再生中に現在の再生の情報を表示することができます。

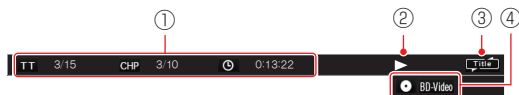
映像を再生しているとき

BD-Video DVD-Video AVCHD

1 再生中に **ON SCREEN** を押す

- もう一度押すと画面表示が消えます。

タイトル・チャプター番号情報



- ① タイトル番号、チャプター番号、再生時間

TT : 現タイトル番号 / 総タイトル数

CHP : 現チャプター番号 / 総チャプター数

⏮ : 現再生時間

- ② 動作状態
- ③ リピート再生中に表示
- ④ メディアの種類・ファイル

写真を再生しているとき

JPEG

1 再生中に **ON SCREEN** を押す

ファイル番号情報



- ① **TR** : ファイル番号 / 総ファイル数

- ② 動作状態
- ③ リピート再生中に表示
- ④ メディアの種類・ファイル

2 **ON SCREEN** を押す

- もう一度押すと画面表示が消えます。

ファイル名情報



- ① **📷** : 現静止画のファイル名
- ② 動作状態
- ③ リピート再生中に表示
- ④ メディアの種類・ファイル

音楽を再生しているとき (ファイルリスト表示中)

CD MP3 WMA WAV

トラック・ファイル番号情報



- ① トラック・ファイル番号、再生時間

TR : 現トラック・ファイル番号 / 総トラック・ファイル数

⏮ : 現再生時間

- ② 動作状態
- ③ リピート再生中に表示
- ④ メディアの種類・ファイル

MP3 WMA WAV

1 再生中に確認したい情報が表示されるまで、**繰り返し ON SCREEN** を押す

曲名情報



- ① **🎵** : 現音楽ファイルの曲名

- ② 動作状態
- ③ リピート再生中に表示
- ④ メディアの種類・ファイル

アーティスト名情報



- ① **👤** : 現音楽ファイルのアーティスト名

- ② 動作状態
- ③ リピート再生中に表示
- ④ メディアの種類・ファイル

アルバム名情報



- ① **🎵** : 現音楽ファイルのアルバム名

- ② 動作状態
- ③ リピート再生中に表示
- ④ メディアの種類・ファイル

メモ

- 再生するメディアの種類やファイルによって、表示される情報が変わります。
- 音楽用CDは、曲名、アーティスト名、アルバム名情報は表示されません。

本機で使えるメディアについて

再生できるメディアとファイル

メディアの種類/フォーマット形式	ロゴ	ファイル ^{*1}
BD		BD-RE (Ver. 2.1)
		BD-R (Ver. 1.1/1.2/1.3)
		BD-Video リージョンコードに「A」の表示があるディスク  リージョンフリーのディスク
DVD		DVD-RW
		DVD-R
		DVD-Video リージョンコードに「2」や「ALL」の表示があるディスク 
CD		CD-RW
		CD-R
		CD-DA (音楽用CD)
USBメモリー	-	JPEG MP3 WMA WAV
SDカード ^{*2}	-	AVCHD JPEG MP3 WMA WAV

*1 すべてのファイルの再生を保証するものではありません。
*2 SDカードを再生するには、かならず市販のUSBカードリーダーを本機に接続してください。

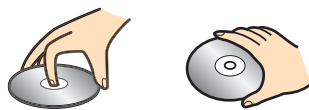
ディスクについて

■ ブルーレイディスク / DVD / CD全般

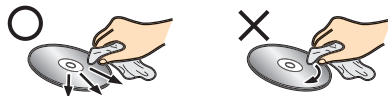
- 次のような場合は、正常に再生できません。
- 記録状態が悪い、ディスクの特性不良、傷、汚れ、本機のレンズの汚れ、結露などがあるとき。
 - パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、「ディスクトレイの開閉ができない。」(p.58)をご覧ください。
 - PAL方式など、NTSC方式以外で記録されたDVDディスク。
 - 権利者に無断で作成されたディスク。
 - クローズド・キャプション(Closed Caption)の再生。

ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央の穴を持ち、再生面(光っている面)には手を触れないでください。



- 指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。



ディスクの保管について

- 使用後は、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くと、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

次のようなディスクは使わないでください!

- ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。
 - 傷が付いているディスク
 - ラベルやシールが貼られているディスク
 - のりがはみ出しているディスク
 - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク
 - 六角形など、特殊な形状のディスク

8cm盤のディスクを使用するときは

- ディスクはトレイの中央の溝に確実にはめてください。
- 8cmアダプターなしで使用できません。

本機で使えるメディアについて・つづき

■ BD-RE / BD-R

- ファイナライズ(クローズ)していないBD-Rは、正常に再生できないことがあります。
- BD-RE Ver1.0 (カートリッジタイプ)は、再生できません。
- マルチボーダー(マルチセッション)で記録したBD-RE/BD-Rは、追加して記録された部分の再生ができません。


■ DVD-RW / DVD-R

- ファイナライズしていないディスクは、正常に再生できないことがあります。
- DVD-RAMは再生できません。
- マルチボーダー(マルチセッション)で記録したDVD-RW/DVD-Rは、追加して記録された部分の再生ができません。

■ BD-Video / DVD-Video

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

■ 音楽用CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面に  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD(コピーコントロール付きCDなど)は正常に再生できない場合があります。
- データファイルが混在している音楽用CDは再生できません。

ご注意

- 対応ディスクであっても、すべての再生を保証するものではありません。

USB機器について

- 本機はFAT16/FAT32形式でフォーマットされたUSB機器に対応しています。
- USBメモリーまたはUSBカードリーダー以外の機器は接続しないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因になります。(携帯電話、スマートフォン、タブレットは使用できません。)また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は、保証していません。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本機の故障の原因となります。

ご注意

- すべてのUSBメモリーおよびUSBカードリーダーで動作を保証するものではありません。
- 本機のUSB端子はTypeA、USB2.0に準拠しています。

SDカードについて

本機はUSBカードリーダーを使ってSDカードを再生することができます。SD規格に準拠した以下のSDカードに対応しています。

SDメモリーカード (8MB ~ 2GB)	ファイルシステムがFAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード
miniSDメモリーカード (16MB ~ 2GB)	
microSDメモリーカード (256MB ~ 2GB)	
SDHCメモリーカード (4GB ~ 32GB)	ファイルシステムがFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカード
miniSDHCメモリーカード (4GB ~ 8GB)	
microSDHCメモリーカード (4GB ~ 16GB)	

- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。

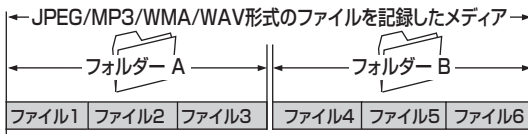
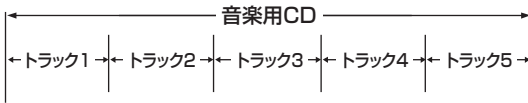
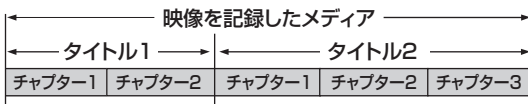
ご注意

- すべてのSDカードで動作を保証するものではありません。
- パソコンでフォーマットされたSDカードは、本機では使用できないことがあります。本機で初期化(フォーマット)してご使用ください。
- SDXCカードには対応していません。

ディスクやUSBメモリーの記録構成について

- 一般に、市販のBD-Videoやレコーダーなどで録画した番組は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
- 音楽用CDの場合は、「トラック」で区切られています。
- JPEGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイルが記録されたメディアは、「フォルダー」という大きな区切りと、「ファイル」という小さな区切りで構成されます。パソコンなどでそれらのファイルを作成する際、ファイルはフォルダーに分けて記録させることができます。
- フォルダーとファイルは名前順に並び、その順番通りに再生されます。

(例)



タイトル : ディスクに記録された番組などのコンテンツデータです。

チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。


トラック : 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

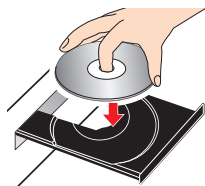
ファイル : ひとつひとつのデータのことで。

フォルダー : タイトルやファイル、フォルダーなどの集合を含む階層のことです。


ディスクの準備

ディスクを入れる


- 1  を押して、ディスクトレイを開く
- 2 ディスクを、ラベル面を上にしてトレイの上に置く

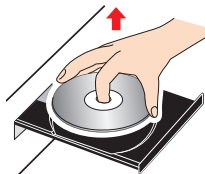


- 両面ディスクを使用するときは再生したい面を下にしてください。

- 3  を押して、ディスクトレイを閉める
- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
 - ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。

ディスクを取り出す

- 1  を押して、ディスクトレイを開く
- 2 ディスクを取り出す



- 3  を押して、ディスクトレイを閉める

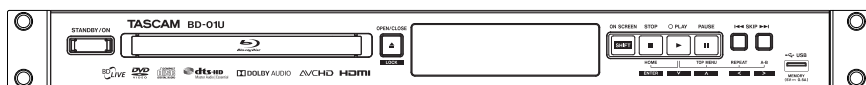
メモ

- ディスクトレイの開／閉ができます。

USB機器の準備

USB機器を接続する

本機ではUSBメモリーに記録されたJPEGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイルを再生できます。また、USBカードリーダー（市販品）を接続すると、SDカードに記録されたJPEGファイル、MP3ファイル、WMAファイル、WAVファイルやAVCHDファイルを再生することができます。



USB端子へ



USBメモリー（市販品）
または
USBカードリーダー（市販品）

■ USB機器を取り外すには

再生が停止していることを確認し、ゆっくりと引き抜いてください。

ご注意

- USB機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- USB機器の再生中・読み込み中は、次のことを行わないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
 - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする。
 - USB機器を取り外す。
- 本機のUSB端子に500mAを超えるUSB機器（外付けHDDなど）を接続しないでください。
- 本機のUSB端子をUSB機器の充電目的で使用しないでください。

ディスクの映像や音楽を再生する

BD-Video、DVD-Video、AVCHDを再生する

BD-Video DVD-Video AVCHD

1 ディスクを入れる

- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は画面の指示に従って操作してください。

2 自動的に再生を開始します

- 自動的に再生を開始しない場合は、◀/▶で“ディスク”を選び、**ENTER**を押してください。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。

ディスクのメニューやポップアップメニューから操作するときは

(メニューやポップアップメニューがある場合のみ)
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。ディスクソフトによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクソフトの説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

- ① 再生中に **TOP MENU** または **MENU** を押す
- ② ▲/▼/◀/▶でお好みのタイトルや項目を選び、**ENTER**を押す

再生を停止するときは

- **STOP** を押す
- 再生が停止します。
(レジュームポイントが記憶されます。詳しくは、「再生開始位置について」(p.31)をご覧ください。)

メモ

- USBカードリーダー(市販品)を接続すると、SDカードに記録されたAVCHDファイルを再生することができます。以下の手順で再生してください。
 - ① **HOME** を押してホームメニュー画面を表示する
 - ② ◀/▶で“USB”を選び、**ENTER**を押す
 - ファイル一覧画面が表示されます。
 - 種類の異なるファイルが書き込まれたSDカードをUSBカードリーダーに接続している場合は、コンテンツ選択画面が表示されます。◀/▶で“AVCHD”を選び、**ENTER**を押してください。

ご注意

- 本機はDVDに記録されたAVCHDファイル(「～～.m2ts」や「～～.mts」、「～～.m2t」)を単体で再生することはできません。ファイルとフォルダーの相対関係がAVCHDの仕様にそった構造にしてください。
- AVCHDファイルをDVDやSDカードなどに記録するには、AVCHDに対応した機器/ソフトウェアを使用してください。(詳しくは、機器/ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。)

数字を入力するときは

ディスクのメニュー画面などで、メニュー項目を選ぶ場合やBDの再生中に数字を入力する必要がある場合に、**1**～**9**、**0**を使って数字を入力することができます。

- ① ディスクのメニュー画面や再生中に **1**～**9**、**0**を押す
 - 2秒経過するか、**ENTER**を押すと入力が確定します。
 - 2桁以上の数値を入力する場合は、最初の入力に続いて素早く次の数字ボタンを押してください。

ご注意

- ディスクによっては、数字入力できない場合があります。

ディスクの映像や音楽を再生する・つづき

DVD (VR)を再生する

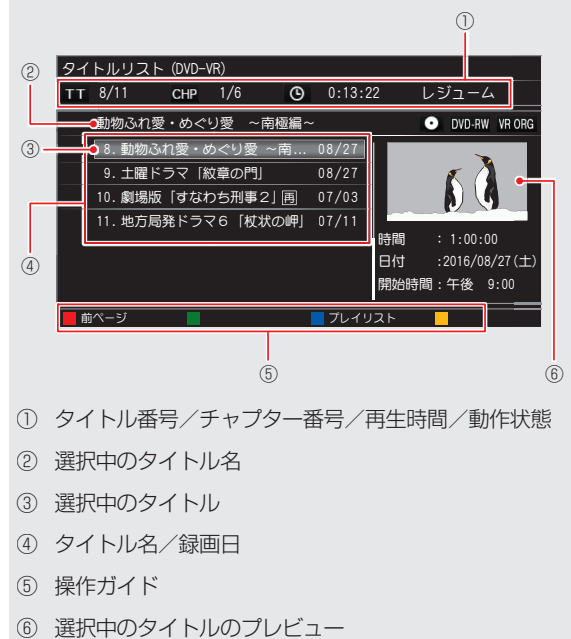
VR

VRで記録されたDVD-RW/-Rディスクにプレイリストを設定しているときは、「オリジナル」または「プレイリスト」を選んで再生することができます。

1 ディスクを入れる

- タイトル一覧画面が表示されます。

タイトル一覧画面の見かた



2 ▲/▼で再生するタイトルを選ぶ

3 ▶ または **ENTER** を押して、再生を始める

再生を停止するときは

■を押す

- 再生が停止し、タイトル一覧画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。詳しくは、「再生開始位置について」(p.31)をご覧ください。)

オリジナルとプレイリストのタイトル一覧を切り換えるときは

タイトル一覧画面で **BLUE** を押す

種類の異なるファイルが入っているディスクの映像を再生する

AVCHD

JPEG

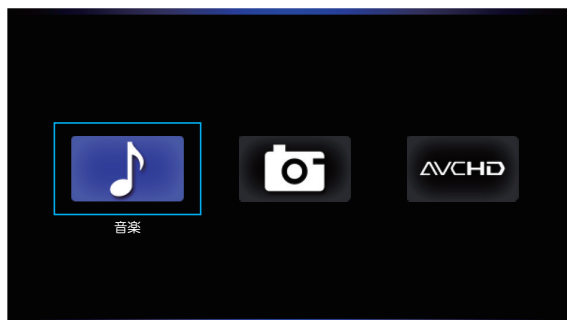
MP3

WMA

WAV

1 ディスクを入れる

- コンテンツ選択画面が表示されます。



2 ◀/▶で“AVCHD”を選び、**ENTER**を押す

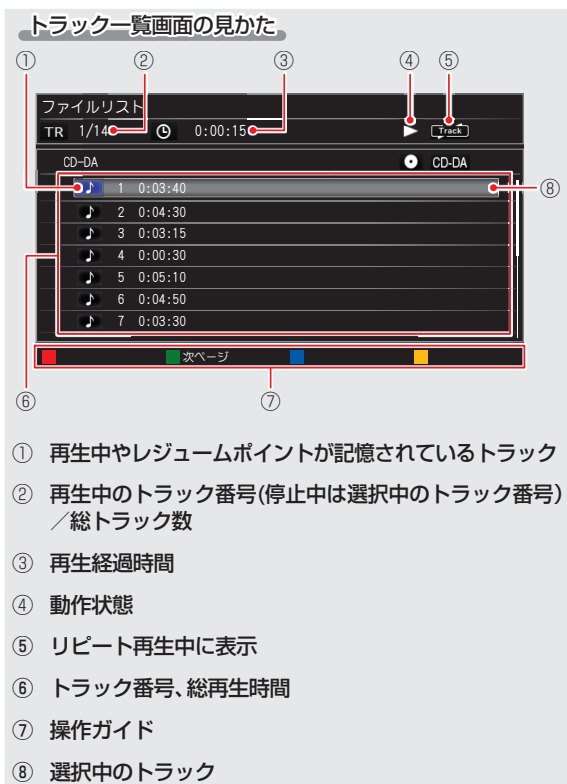
- “AVCHD”を選んだときは、自動的に再生が始まります。詳しくは「BD-Video、DVD-Video、AVCHDを再生する」(p.29)をご覧ください。
- JPEGファイルを再生したい場合は“写真”を、MP3/WMA/WAVファイルを再生したい場合は“音楽”を選んでください。詳しくは「写真、音楽を再生する」(p.38)をご覧ください。

音楽用CDを再生する

CD

1 ディスクを入れる

- トラッカー一覧画面が表示されます。



2 ▲/▼で、お好みのトラックを選び、▶ または **ENTER** を押す

再生を停止するときは

■ を押す

- 再生が停止し、トラッカー一覧画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。詳しくは、「再生開始位置について」(本ページ)をご覧ください。)

再生開始位置について

BD-Video DVD-Video VR AVCHD CD

再生中に **■** を押すと、再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されます。

- ディスクにつき一箇所だけレジュームポイントが記憶されます。ディスクに複数のタイトルが記録されている場合は、最後に再生していたタイトルのレジュームポイントが記憶されます。
- 本機の電源を切った後でも、レジュームポイントは記憶されています。

BD-Video DVD-Video AVCHD の場合

- ホーム画面で“ディスク”を選び、▶ を押すと、続きから再生します。(**ENTER** を押すと最初から再生します。)

VR の場合

- タイトル一覧画面で再生したいタイトルを選び、▶ を押すと続きから再生します。(**ENTER** を押すと最初から再生します。)
- “オリジナル”と“プレイリスト”のタイトル一覧を切り換えたときは、レジュームポイントが解除されます。

CD の場合

- トラッカー一覧画面で同じタイトルを選び、▶ を押すと、続きから再生します。(**ENTER** を押すと最初から再生します。)

メモ

- 次のような場合、記憶したレジュームポイントが解除されます。
 - タイトルの終わりまで再生したとき
 - ディスクトレイを開けたとき
 - 視聴制限レベルが変更されたとき
 - レジューム情報が記録されているときに、再度 **■** を押したとき

ご注意

- ディスクによっては、レジューム機能を利用できない場合があります。

いろいろな再生

早く見る／聞く(早送り／早戻し)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD CD
MP3 WMA WAV

再生中に、◀、▶ を押す

- 押すたびに、再生速度が5段階で切り換わります。(音楽用CDやMP3、WMA、WAVを再生した場合は、3段階で切り換わります。)
- ▶ を押すと、通常再生に戻ります。
- 一部を除き、音声は出ません。

音声付きで早く見る(早見再生)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

再生中に、▶ を1回押す

- ▶ を押すと、音声付きの約1.3倍速の早見再生になります。
- 早見再生中に▶ を押すと、通常再生に戻ります。

再生を一時的に止める(再生一時停止)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD JPEG
CD MP3 WMA WAV

再生中に ⏸ を押す

- 再生が一時停止します。
- ▶ を押すと、再生を再開します。

ゆっくり見る(スロー再生)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

再生一時停止中に、▶ を押す

- 押すたびに、再生速度が3段階で切り換わります。
- ▶ を押すと通常再生に、⏸ を押すと再生一時停止に戻ります。

コマを進める(コマ送り)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

再生一時停止中に、▶ を押す

- 押すたびに、画面が1コマずつ進みます。
- ▶ を押すと、通常再生に戻ります。

見たい／聞きたいところまでとばす(スキップ)

再生中または再生一時停止中に、◀、▶ を押す

- 再生一時停止中にスキップした場合、スキップ後一時停止状態を維持します。

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

- 押すたびに、前後のチャプターに移動します。
- ⏮ の場合、1回目は現在再生中のチャプターの先頭に移動します。

CD MP3 WMA WAV

- 押すたびに、前後のファイルに移動します。
- ⏮ の場合、1回目は現在再生中のファイルの先頭に移動します。

JPEG

- 押すたびに、前後のファイルに移動します。



メモ

- 早送り、早戻し、スロー再生中にスキップをした場合、移動先からは通常の速度で再生されます。

再生を少し戻す(可変リプレイ)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

再生中に、INSTANT REPLAY を押す

- 押すたびに、“再生設定”の“可変リプレイ”で設定した時間だけ再生位置が戻ります。(p.46)



メモ

- 早送り、早戻し、スロー再生中に可変リプレイをした場合、移動先からは通常の速度で再生されます。

繰り返し再生する(リピート再生)



BD-Video DVD-Video VR AVCHD JPEG
CD MP3 WMA WAV

1 再生中に、を押してリピートメニューを表示する

2  または  /  で希望のリピート再生を選び、 を押す

リピート 切  

リピート再生をやめるときは

-  を押すと再生が停止し、リピートも解除されます。
- 再生を止めずにリピートだけ解除する場合は、 を繰り返し押し、“切”に設定にします。(手順2)

リピートの種類について

再生中のメディアやファイルによって、選べるリピート再生の種類が異なります。

再生するメディア／ファイル	リピートの種類
BD-Video DVD-Video AVCHD	 チャプターリピート  タイトルリピート 切
VR	 チャプターリピート  タイトルリピート  オールリピート 切
CD	 トラックリピート  オールリピート  ランダムリピート 切
JPEG MP3 WMA WAV	 トラックリピート  フォルダーリピート  ランダムリピート 切

ご注意

- 以下の操作でリピート再生、またはA-Bリピートが解除されます。
 - 本機の電源を切る
 - タイトル／ファイル一覧画面を表示する
- 以下の操作で、再生位置がリピート範囲を超えた場合はリピート再生、またはA-Bリピートが解除されます。
 - スキップ
 - チャプター／トラック／タイムサーチ
 - 可変リプレイ

チャプターリピート：再生中のチャプターを繰り返し再生します。

タイトルリピート：再生中のタイトルを繰り返し再生します。

トラックリピート：再生中の映像／音楽／写真を繰り返し再生します。

フォルダーリピート：フォルダー内の映像／音楽／写真を繰り返し再生します。


オールリピート：メディア内のすべての映像／音楽／写真を繰り返し再生します。

ランダムリピート：フォルダー内の映像／音楽／写真をランダムな順序で再生します。

切：リピート再生しません。

A-Bリピートする

BD-Video DVD-Video VR AVCHD CD

1 再生中に  を押す




- A点が設定されます。

2 再度  を押す

- B点が設定され、A点に戻ります。以後、A-B間の再生を繰り返します。

 A-Bリピート

A-Bリピートをやめるときは

-  を押すと再生が停止し、A-Bリピートも解除されます。
- 再生を止めずにA-Bリピートだけ解除する場合は、A-Bリピート中に  または  を押すとリピートが解除されます。

メモ

- A点設定中に、タイトルまたはトラックの終端に到達すると、終端をB点に設定し、A-Bリピートが開始されます。

いろいろな再生・つづき

番号や時間を指定してとばす(サーチ)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD JPEG
CD MP3 WMA WAV

1 再生中に、**SEARCH**を押してサーチメニューを表示する

- サーチメニューは **MODE** を押して、サブメニューから“サーチ”を選ぶことでも表示できます。

2 **SEARCH** または **▲/▼** で希望のサーチを選ぶ

サーチ [TR] 1/8

- 押すたびにサーチの種類が切り換わります。

3 **▶** で変更したい数値へ移動し、**▲/▼** で数値を変更し、**ENTER** を押す

- 指定した番号または時間に再生位置が移動します。

入力を間違えたときは

◀/▶ で修正したい数値に移動し、入力し直してください。

サーチの種類について

再生中のメディアやファイルによって、選べるサーチの種類が異なります。

再生するメディア／ファイル	サーチの種類
BD-Video DVD-Video VR AVCHD	CHP チャプターサーチ TT タイトルサーチ ⌚ タイムサーチ
CD	TR トラックサーチ ⌚ タイムサーチ
JPEG MP3 WMA WAV	TR トラックサーチ

チャプターサーチ：指定したチャプターを頭出しします。

タイトルサーチ：指定したタイトルを頭出しします。

トラックサーチ：指定したトラックやファイルを頭出しします。

タイムサーチ：指定した時間で頭出しします。

パワーオンプレイ機能を使う

BD-Video DVD-Video CD

本機は、電源を入れる、または電源コードを電源コンセントに差し込むと自動的に再生が開始されるパワーオンプレイ機能に対応しています。

本機能を利用するには、ホームメニュー画面の“本体設定” → “その他設定” → “パワーオンプレイ”を“入”に設定し、BD-Video、DVD-Video、音楽用CDをディスクトレイに入れておいてください。

● 音楽用CDをディスクトレイに入れて、パワーオンプレイ機能を使った場合、リピート状態が自動的に“オール”になります。

注意

- 本機能が有効な場合、**⏪/⏩** と **▲** 以外のボタン操作を受け付けません。
- ディスクトレイを開けると、本機能が一時的に無効になります。電源を一度切り再度入れなおすか、電源コードを抜き差しすると本機能が再度有効になります。
- パワーオンプレイ機能が有効な時に本機の電源を切ると、次に電源を入れた際は電源を切ったところ(レジュームポイント)からつづき再生されます。
- ディスクのメニューの作り方やファイル形式等によって、リピート方式が異なります。
- DVD-VRディスクやMP3/WMA/WAVファイルを含むディスクをディスクトレイに入れている場合、パワーオンプレイ機能が有効であれば、本機の電源を入れると自動でディスクの再生が開始されますが、ボタン操作は有効でリピート再生は“切”となります。

再生中の各種設定切り換え


再生中に、音声や字幕の言語、カメラアングルなどを切り換えることができます。

音声(言語)を切り換える

BD-Video DVD-Video VR AVCHD CD

再生中のタイトルに複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語が記録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。


1 再生中に、を押して、音声情報を表示する

- 音声情報は  を押して、サブメニューから“音声”を選ぶことでも表示できます。



2 / / / で希望の音声を選ぶ

-  を押して切り換えることもできます。

BD-Video

▲ / ▼ で“プライマリ”か“セカンダリ”を選んだあとに、 で音声切り換えエリアへ移動し、▲ / ▼ で音声を切り換える。

音声	プライマリ	1 日本語	DD	Multi-ch	/3
	セカンダリ	2 英語	DD+	Multi-ch	/3
[デコードフォーマット]: Dolby Audio - Dolby Digital					


- “音声設定”の“BD-HD音声設定”が“HD音声”のときにはセカンダリ音声は出力されません。(p.44)
- セカンダリの場合は、 /  で最後に選んだ音声と“オフ”を切り換えることができます。

DVD-Video VR AVCHD

- 複数の音声ストリームがある場合は、左側の項目がハイライトされるので、▲ / ▼ で希望の音声を選択してください。

音声	1 日本語	AAC	2ch	/2
[デコードフォーマット]: AAC				

- 選択している音声がか国語の場合は、▲ / ▼ で“主音声”→“副音声”→“主/副”に切り換えることができます。

音声	1 日本語 / 英語	AAC	二重音声	/1	
[デコードフォーマット]: AAC					

CD

- 選択している音声がステレオの場合は、▲ / ▼ で“ステレオ”→“L-ch”(左音声)→“R-ch”(右音声)に切り換えることができます。

音声	ステレオ	
----	------	---

ご注意


- 以下の場合、音声切換できません。
 - 早見再生中
 - スロー再生中
 - 早送り/早戻し中
 - コマ送り中
 - 一時停止中
- DTS-CDの場合、音声を切り換えることができません。
- 電源を切っても現在の音声設定は保持されます。

字幕(言語)を切り換える

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

再生中のタイトルに複数の字幕言語が記録されているときは、字幕の言語や表示/非表示を選ぶことができます。

1 再生中に、を押して、字幕情報を表示する


- 字幕情報は  を押して、サブメニューから“字幕”を選ぶことでも表示できます。

2 ▲ / ▼ で希望の字幕を選ぶ

-  を押して切り換えることもできます。

BD-Video

BD-Videoの場合、プライマリ映像用の字幕、セカンダリ映像用の字幕、また、字幕のスタイルを、それぞれ設定することができます。

▲ / ▼ で“プライマリ”、“セカンダリ”または“スタイル”を選んだあとに、 で字幕へ移動し、▲ / ▼ で設定を切り換える



字幕	プライマリ	1 日本語	/11
	セカンダリ	2 英語	/11
	スタイル	2/25	

DVD-Video VR AVCHD

▲ / ▼ で希望の字幕を選ぶ

字幕	1 日本語	/ 1
----	-------	-----

メモ

-  /  で最後に選んだ字幕言語と“オフ”を切り換えることができます。
- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかります。

ご注意

- 以下の場合、字幕切換できません。
 - 早見再生中
 - スロー再生中
 - 早送り/早戻し中
 - コマ送り中
 - 一時停止中
- 電源を切っても現在の字幕設定は保持されます。

再生中の各種設定切り換え・つづき

再生映像のノイズを低減する (ノイズリダクション)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

- 1 再生中に、MODE を押してサブメニューを表示する
- 2 ▲/▼で“ノイズリダクション”を選び、ENTER を押す
- 3 ▲/▼で希望の設定を選び、ENTER を押す

ノイズリダクション 切

“切”：ノイズリダクションを無効にします。

“入”：ノイズが軽減されます。

ご注意

- 電源を切っても現在のノイズリダクション設定は保持されます。

再生映像の標準画質を鮮明な 画質に補正する(超解像設定)

BD-Video DVD-Video VR AVCHD

映像を精細感の高い画質に補正します。

- 1 再生中に、MODE を押してサブメニューを表示する
- 2 ▲/▼で“超解像設定”を選び、ENTER を押す
- 3 ▲/▼で希望の設定を選び、ENTER を押す

超解像設定 切

“切”：超解像再生を無効にします。

“入”：精細感が強調されます。

ご注意

- 接続しているテレビによっては、映像が白っぽく見えることがあります。その場合、“超解像設定”を“切”に設定してください。
- 再生している映像の解像度や本機に接続している機器のHDMI出力解像度によっては、効果が確認できないことがあります。
- 電源を切っても現在の超解像設定は保持されます。

カメラアングル(見る角度)や 映像を切り換える

BD-Video DVD-Video

再生中のタイトルに複数のカメラアングルや映像が記録されているときは、見る角度や映像を選ぶことができます。

- 1 再生中に、MODE を押してサブメニューを表示する
- 2 ▲/▼で“アングル”を選び、ENTER を押す
 - アングルメニューが表示されます。
- 3 ▲/▼で希望のカメラアングルや映像を選び、ENTER を押す
 - アングルメニューを表示中は、▲/▼を押すたびに、カメラアングルや映像が切り換わります。

メモ

- カメラアングルが選べる場面では、画面に“CAM”が表示されます。(表示されないようにすることもできます。)(p.46)
- 音声/字幕/カメラアングルの内容はディスクによって異なりますので、ディスクソフトの説明書もご覧ください。

ご注意

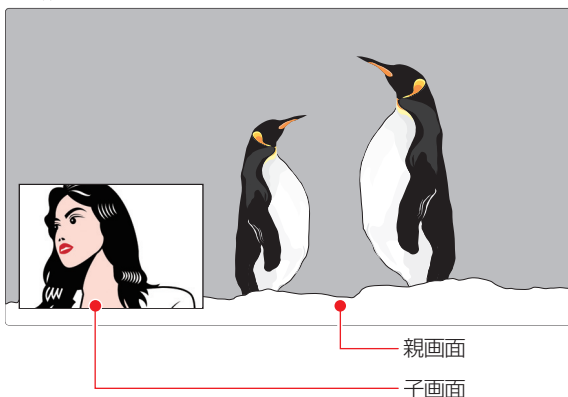
- 電源を切っても現在のアングル設定は保持されます。

BD-Videoの 子画面の切り換えをする

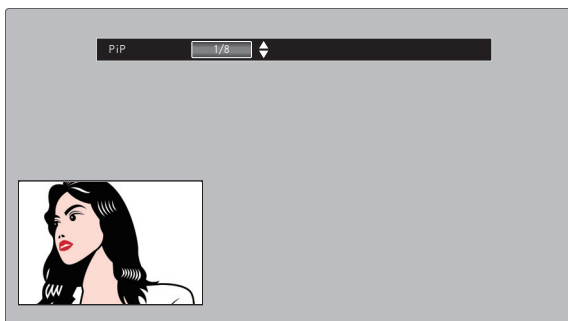
BD-Video

(ピクチャー・イン・ピクチャー対応のみ)
子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)対応のBD-Videoでは、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

- 子画面の再生のしかたは、BD-Videoの取扱説明書をご覧ください。



- 1 再生中に、**MODE** を押してサブメニューを表示する
- 2 ▲/▼で“PiP”を選び、**ENTER** を押す
 - 子画面の設定は、親画面/子画面の同時再生中のみできます。
- 3 ▲/▼で希望の設定を選び、**ENTER** を押す



ご注意

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。
- 電源を切っても現在のPiP設定は保持されます。

BD-Videoのバーチャル・ パッケージを利用する

BD-Video

(バーチャル・パッケージ対応のみ)
バーチャル・パッケージに対応しているBD-Videoでは、USBメモリーにデータをコピーして、いろいろな再生機能を楽しむことができます。

準備

- USBメモリーを接続しておく(p.28)
- 他のデータが入ったUSBメモリーや、他機でフォーマットされたUSBメモリーを使うと、BD-Videoが正しく再生されないことがあります。その場合、“USB初期化”を行ってください。(p.46)
- コピーされたバーチャル・パッケージを再生中に本機からUSBメモリーを抜くと、BD-Videoの再生が停止します。
- BD-Videoの再生中に、映像や音声が停止することがあります。
- USBメモリーに記録されたバーチャル・パッケージの内容を消去するには、“(USB) BDデータ消去”を行ってください。(p.46)
- SDカードやUSBメモリーをUSBカードリーダーやUSBハブを経由して接続した場合、BDデータは最初に接続したSDカードやUSBメモリーに書き込まれます。USB機器を本機に直接接続することをおすすめします。

写真、音楽を再生する

JPEG

MP3

WMA

WAV

ディスクやUSBメモリーに記録された写真や音楽を本機で再生することができます。また、USBカードリーダー（市販品）を本機に接続すると、SDカードもお使いいただけます。

1 ディスクを入れる、またはUSB機器を接続する

ディスクを再生するときは

- 同じ種類のファイルのみ書き込まれたディスクの場合は自動でファイルの読み込みが始まり、ファイル一覧が表示されます。
- 種類の異なるファイルが書き込まれたディスクの場合は、コンテンツ選択画面が表示されます。◀/▶で“写真”または“音楽”を選び、ENTERを押してください。ファイル一覧画面が表示されます。

USB機器を再生するときは

- ① HOMEを押してホームメニュー画面を表示する
- ② ▲/▼/◀/▶で“USB”を選び、ENTERを押す
 - ファイル一覧画面が表示されます。
 - 種類の異なるファイルが書き込まれたSDカードをUSBカードリーダーに接続している場合は、コンテンツ選択画面が表示されます。◀/▶で“写真”または“音楽”を選び、ENTERを押してください。ファイル一覧画面にてYELLOWを押すと、再度コンテンツ選択画面が表示されます。

フォルダー内を見たいときは

- ▲/▼/◀/▶で見たいフォルダーを選び、ENTERを押す
- 階層が複数ある場合は、この操作を繰り返してください。
 - RETURNを押すと上の階層に戻ります。

別のページを表示するときは

- RED (前ページ) または GREEN (次ページ) を押す

2 ▲/▼/◀/▶で見たい写真または音楽ファイルを選び、ENTERまたは▶を押して再生を始める

- 選んだ写真または音楽ファイルと、それ以降に記録されているファイルが連続再生されます。
- 写真ファイルを再生中にON SCREENを2回押すと、ファイル名を表示できます。
- 写真ファイルを再生していると10秒ごとに自動で次のファイルに進みます。

再生中の写真を回転させるには

- 写真を再生中に◀/▶を押す
- 押すたびに、画像表示が90°ずつ回転します。(回転した画像情報は記憶されません。)

再生を停止するときは

- 再生を停止するには、STOPを押す
- 再生が停止し、ファイル一覧画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。)
- 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止してファイル一覧画面に戻ります。
- その他の再生操作については、「いろいろな再生」(p.32)をご覧ください。

メモ

- 再生中に再生できないファイルがあった場合は、“⊘”を表示して次のファイルにスキップします。
- 写真の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。

再生開始位置について

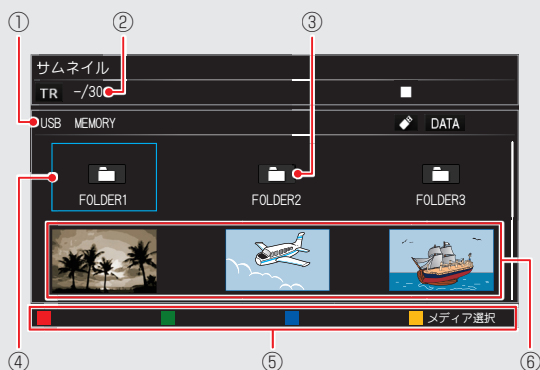
- 再生中にSTOPを押すと、最後に再生したファイル(レジュームポイント)が記憶されます。
- レジュームポイントが記憶されているときにホームメニュー画面で“ディスク”または“USB”を選んだときは、レジュームポイントが記憶されているファイルを選択した状態でファイル一覧が表示されます。
- 最初から再生したいときは、ファイル一覧画面でもう一度STOPを押してレジュームポイントを解除してください。

メモ

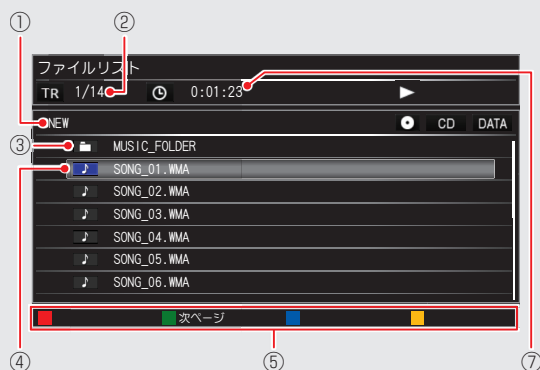
- ディスクトレイを開けたときは、ディスクのレジュームポイントが解除されます。
- 本機からUSB機器を取り外したときや本機の電源を切ったときは、USB機器のレジュームポイントが解除されます。

ファイル一覧画面の見かた

ファイル一覧画面の見かた (写真)



ファイル一覧画面の見かた (音楽)



- ① フォルダの名前(現在の階層)
 - 一番上の階層のときはディスクまたは機器の名前が表示されます。
- ② 選択中のファイル番号／総ファイル数
- ③ フォルダアイコン
- ④ 選択中のファイルまたはフォルダ
- ⑤ 操作ガイド
- ⑥ サムネイル
- ⑦ 再生時間

写真、音楽を再生する・つづき

本機で再生できるJPEGファイルについて

■ 画素数

サブサンプリング (4:4:4の場合)	32 × 32 ~ 4096 × 4096
サブサンプリング (4:2:2または 4:2:0の場合)	32 × 32 ~ 5120 × 5120

- ファイルサイズは12MBまでです。
- JPEGファイルをディスクに書き込む場合はUDF、ISO9660またはJOLIETフォーマットで書き込んでください。

🗨️ ご注意

- JPEG形式以外のファイルは再生できません。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。
- Motion JPEGファイルには対応していません。

本機で再生できるMP3/WMAファイルについて

■ サンプリング周波数

32kHz, 44.1kHz, 48kHz

■ ビットレート

112kbps - 320kbps (MP3)
48kbps - 192kbps (WMA)

本機で再生できるWAVファイルについて

■ サンプリング周波数

- BD/DVD/USBに保存している場合
8kHz, 11.025kHz, 12kHz, 16kHz, 22.05kHz, 24kHz, 32kHz, 44.1kHz, 48kHz, 64kHz, 88.2kHz, 96kHz, 176.4kHz, 192kHz
- CDに保存している場合
8kHz, 11.025kHz, 12kHz, 16kHz, 22.05kHz, 24kHz, 32kHz, 44.1kHz, 48kHz, 64kHz, 88.2kHz, 96kHz

■ 量子化ビット数

8bit, 16bit, 24bit

最大認識可能数について

本機で認識できる最大ファイル数/最大フォルダー数/最大階層数は以下になります。

	BD / DVD / USB	CD
フォルダー数	999	255
ファイル数	9999	999
階層数	9	9

🗨️ ご注意

- 一覧のフォルダー名が長いときは、末尾の文字が表示されない場合があります。
- 記録状態などによっては、一覧に表示されたファイルでも再生できないことがあります。

再生についての補足説明

■ 再生全般

- ブルーレイディスク／DVDの2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬途切れることがあります。
- 再生開始時や再生停止時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- タイトルの変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクのメニューが表示されたりすることがあります。この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起すことがありますのでご注意ください。
- ディスクによっては、つづき再生、再生速度の切り換え、頭出し、言語やカメラアングルの切り換え、リピート再生などの操作が、本機ではできないことがあります。

■ タイトル／ファイル一覧画面

- リピート再生中にタイトル／ファイル一覧画面を表示すると、リピート再生が解除されます。

■ つづき再生(レジュームポイント設定状態)

- つづき再生が始まる位置は、レジュームポイントによって多少ずれることがあります。

■ 音声／字幕／カメラアングルの切り換え

- ディスクソフトによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- 音声(言語)を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 字幕設定を変更したときは、切り換わるまで多少時間がかかることがあります。
- 早送り／早戻し再生中の字幕表示はできません。
- カメラアングルを変更したときは、切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。
- ディスクトレイを開けたときは、カメラアングルの設定が“1”に戻ります。

■ HDMI OUTPUT端子からの音声出力について

- 再生するメディアや本機に接続している機器によって、音声出力が異なります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

メディア	音声記録方式	音声出力設定		
		ビットストリーム	LPCM	切
BD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM	ミュート
	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタルプラス (ドルビーデジタル*)	マルチLPCM	ミュート
	ドルビー TrueHD	ドルビー TrueHD (ドルビーデジタル*)	マルチLPCM	ミュート
	DTS®	DTS®	マルチLPCM	ミュート
	DTS-HD®	DTS-HD® (DTS®*)	マルチLPCM	ミュート
	LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM	ミュート
DVD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM	ミュート
	DTS®	DTS®	2ch LPCM	ミュート
	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM	ミュート
DVD-VR	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM	ミュート
	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM	ミュート
AVCHD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	マルチLPCM	ミュート
	LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM	ミュート
音楽用CD	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM	ミュート
DTS-CD	DTS®	DTS®	2ch LPCM	ミュート
MP3	MP3	2ch LPCM	2ch LPCM	ミュート
WMA	WMA	2ch LPCM	2ch LPCM	ミュート
WAV	LPCM	マルチLPCM	マルチLPCM	ミュート

※ “BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定して、インタラクティブ音声やセカンダリ音声を含むBD-Videoを再生したとき。

再生についての補足説明・つづき

■ DIGITAL OUTPUTS (OPTICAL)/DIGITAL OUTPUTS (COAXIAL)端子からの音声出力について

メディア	音声記録方式	デジタル音声出力設定	
		ビットストリーム	LPCM
BD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2ch LPCM
	ドルビーデジタルプラス	ドルビーデジタル	ダウンミックス2ch LPCM
	ドルビー TrueHD	ドルビーデジタル	ダウンミックス2ch LPCM
	DTS®	DTS®	ダウンミックス2ch LPCM
	DTS-HD®	DTS®	ダウンミックス2ch LPCM
	LPCM	ダウンミックス2ch LPCM	ダウンミックス2ch LPCM
DVD-Video	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2ch LPCM
	DTS®	DTS®	ダウンミックス2ch LPCM
	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
DVD-VR	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2ch LPCM
	LPCM	2ch LPCM	ダウンミックス2ch LPCM
AVCHD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	ダウンミックス2ch LPCM
	LPCM	ダウンミックス2ch LPCM	ダウンミックス2ch LPCM
DTS-CD	DTS®	DTS®	ダウンミックス2ch LPCM
Audio CD	LPCM	2ch LPCM	2ch LPCM
MP3	MP3	2ch LPCM	2ch LPCM
WMA	WMA	2ch LPCM	2ch LPCM
WAV	LPCM	ダウンミックス2ch LPCM	ダウンミックス2ch LPCM

🗨️ ご注意

- 接続している機器がHDMIビットストリームに対応していない場合“音声出力設定”を“ビットストリーム”に設定していても、機器の性能に応じてマルチLPCM、またはダウンミックス2ch LPCMで出力されます。
- 再生するBD-Videoにセカンダリ音声やインタラクティブオーディオがない場合は、“BD-HD音声設定”を“複合音声”に設定していても、出力音声は“HD音声”と同様になります。
- HDMI端子からの音声信号(サンプリング周波数、チャンネル数、ビット長など)は、接続する機器により制限されることがあります。
- プロジェクターなどのHDMI対応モニターによっては、音声信号入力に対応していない場合があります。そのような機器と本機を接続した場合は、HDMI OUTPUT端子から音声信号は出力されません。

■ ANALOG OUTPUTS(BALANCED)/ANALOG OUTPUTS(UNBALANCED)端子からの出力音声について

- モノラルまたは2ch以外のマルチch音声の場合、2chにダウンミックスされます。

いろいろな設定を変える(設定メニュー)

“本体設定”メニューを使う

1 **HOME** を押して、ホームメニュー画面を表示する

2 ◀/▶ で“本体設定”を選び、**ENTER** を押す

3 ▲/▼ で希望の項目または設定を選び、**ENTER** を押す

各設定項目については、以下の「“本体設定”メニューの項目と設定内容」(p.43 ~ 46)をご覧ください。
この操作を繰り返し、希望の設定に変更します。

- **RETURN** を押すと、左側の設定項目に戻ります。

希望の設定に変更するときに確認メッセージが出る場合は

- ① ◀/▶ で“はい”を選び、**ENTER** を押してください。

ご注意

- 再生中にホームメニュー画面を表示すると、再生が自動的に停止します。

“本体設定”メニューの項目と設定内容

設定のしかたについては、上記「“本体設定”メニューを使う」(本ページ)をご覧ください。
(■ はお買い上げ時の設定です。)


項目	設定内容	説明	
映像設定	テレビ画面選択 ● 「アスペクト比 (画面比) について」(p.51) もご覧ください。	16:9ワイド	16:9ワイドテレビで見るとときに選びます。16:9ワイド映像を画面いっぱいに映します。
		16:9シュリンク	16:9ワイドテレビで、4:3映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ4:3映像を縮小して表示します。
		4:3レターボックス	4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。
		4:3パンスキャン	4:3標準テレビで16:9ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のないDVDディスクソフトはレターボックスで表示されます。
	スチルモード	自動	表示する静止画の情報に応じて、“フィールド”または“フレーム”のどちらかで表示されます。
		フィールド	“自動”に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。“フィールド”を選択すると、情報が少ないため、画像は少し荒くなります。
		フレーム	動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。“フレーム”を選択すると画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため画像にブレが生じることがあります。
音声設定	Dolby D レンジ (p.47)	自動	Dolby Audio - DolbyTrueHDの再生中に、本機がディスクのDolby D レンジ情報を認識し、自動でDolby D レンジ設定を“入”または“切”に設定します。Dolby Audio - DolbyTrueHD以外を再生した場合は“切”と同じ動作をします。
		入	記録された音声のダイナミックレンジ(強弱の幅)を調整します。
		切	記録されたオリジナル音源で出力します。

いろいろな設定を変える(設定メニュー)・つづき

項目	設定内容	説明		
音声設定	デジタル音声出力 • “HDMI設定”→“音声出力設定”を“切”に設定している場合のみ設定可能です。	ビットストリーム	“HDMI設定”→“音声出力設定”を“切”に設定している場合、DIGITAL OUTPUTS (OPTICAL)/DIGITAL OUTPUTS (COAXIAL)端子からビットストリーム出力します。	
		LPCM	“HDMI設定”→“音声出力設定”を“切”に設定している場合、DIGITAL OUTPUTS (OPTICAL)/DIGITAL OUTPUTS (COAXIAL)端子から2ch LPCMに変換し出力します。	
	ダウンサンプリング	入	DIGITAL OUTPUTS (OPTICAL)/DIGITAL OUTPUTS (COAXIAL)端子から出力するPCM音声に対してダウンサンプリングを行います。	
		切	DIGITAL OUTPUTS (OPTICAL)/DIGITAL OUTPUTS (COAXIAL)端子から出力するPCM音声をそのまま出力します。	
	BD-HD音声設定	HD音声	プライマリ音声のみを高音質で出力します。	
		複合音声	インタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。	
	アッテネーター	0dB	ANALOG OUTPUTS (UNBALANCED)/(BALANCED)端子の音声出力レベルを0dBに設定します。	
		-1dB	ANALOG OUTPUTS (UNBALANCED)/(BALANCED)端子の音声出力レベルを-1dBに設定します。	
		-12dB	ANALOG OUTPUTS (UNBALANCED)/(BALANCED)端子の音声出力レベルを-12dBに設定します。	
	HDMI設定	解像度設定 (p.47)	自動	接続したHDMI機器によって、HDMI映像解像度を自動で設定します。
480p			480プログレッシブで出力します。	
720p			720プログレッシブで出力します。	
1080i			1080インターレースで出力します。	
1080p			1080プログレッシブで出力します。	
1080p/24			1080プログレッシブ24フレームで出力します。	
HDMI機器制御 (p.19)		入	本機のHDMI機器制御機能を使う設定です。 ● 本機とHDMI CEC対応テレビをつなぐと、本機が対応しているHDMI機器制御機能を利用できます。(HDMI CEC対応テレビの取扱説明書もご覧ください。)	
		切		
音声出力設定		ビットストリーム	接続している機器が以下に対応している場合、各音声をビットストリームで出力します。 • ドルビーオーディオ - ドルビーデジタル • ドルビーオーディオ - ドルビーデジタルプラス • ドルビーオーディオ - ドルビー TrueHD • DTS • DTS-HD	
			LPCM	上記音声をLPCMで出力します。
			切	HDMIからの音声出力をミュートします。
ディープカラー • 接続しているHDMI機器がディープカラーに対応している場合のみ設定可能です。		自動	接続したHDMI機器がディープカラーに対応している場合、自動で映像信号をディープカラーで出力します。	
		切	映像信号をディープカラーで出力しません。	
プログレッシブモード		自動	映画などの1秒間に24フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に最適な状態で出力します。	
		ビデオ	ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。“自動”設定でプレが生じるときは、この設定にしてください。	
HDCPオート		入	“入”に設定していると、著作権フリーの映像であれば、HDCP非対応機器に映像を出力します。	
		切		

項目	設定内容	説明			
再生設定	画面表示言語	自動(xxx)	再生中やホームメニュー画面における表示言語を設定します。		
		日本語	● "HDMI機器制御"を"入"に設定し、"自動(x x x)"を選んできると、CEC対応のTV側で設定している言語にメニュー言語が自動で切り換わります。		
		英語			
	音声言語(p.47)	オリジナル	ドイツ語	ポーランド語	再生時の音声言語を設定します。 "その他の言語"を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表(p.49)を参考に、言語コードを入力してください。
		ブルガリア語	ギリシャ語	ポルトガル語	
		中国語	ハンガリー語	ルーマニア語	
		チェコ語	アイスランド語	ロシア語	
		デンマーク語	アイルランド語	スロバキア語	
		オランダ語	イタリア語	スペイン語	
		英語	日本語	スウェーデン語	
フィンランド語		韓国語	トルコ語		
字幕言語(p.47)	切	ドイツ語	ポーランド語	再生時の字幕言語を設定します。 "その他の言語"を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表(p.49)を参考に、言語コードを入力してください。	
	ブルガリア語	ギリシャ語	ポルトガル語		
	中国語	ハンガリー語	ルーマニア語		
	チェコ語	アイスランド語	ロシア語		
	デンマーク語	アイルランド語	スロバキア語		
	オランダ語	イタリア語	スペイン語		
	英語	日本語	スウェーデン語		
	フィンランド語	韓国語	トルコ語		
	フランス語	ノルウェー語	その他の言語		
メニュー言語(p.47)	ブルガリア語	ギリシャ語	ポルトガル語	ディスクのメニューで表示される言語を設定します。 "その他の言語"を選ぶと、4桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表(p.49)を参考に、言語コードを入力してください。	
	中国語	ハンガリー語	ルーマニア語		
	チェコ語	アイスランド語	ロシア語		
	デンマーク語	アイルランド語	スロバキア語		
	オランダ語	イタリア語	スペイン語		
	英語	日本語	スウェーデン語		
	フィンランド語	韓国語	トルコ語		
	フランス語	ノルウェー語	その他の言語		
	ドイツ語	ポーランド語			
BD視聴制限レベル ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。(p.48)	無制限	制限なく、すべてのディスクが視聴できます。			
	視聴可能年齢設定	年齢入力画面が表示されるので、制限したい年齢を入力してください。入力した年齢を超える制限が設定されているタイトルは視聴することができなくなります。			
DVD視聴制限レベル ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。(p.48)	無制限	制限なく、全てのディスクが視聴できます。			
	レベル8	年齢に関係なく視聴できます。			
	レベル7	18歳未満の方は視聴できません。			
	レベル6	18歳未満の方が視聴するには保護者の指導が必要です。			
	レベル5	保護者同伴での視聴を推奨します。			
	レベル4	13歳未満の方の視聴には不適切な表現が含まれています。			
	レベル3	保護者の方の判断による視聴を推奨します。			
	レベル2	一般的に視聴できる内容です。			
レベル1	お様が視聴されても問題のない内容です。				

いろいろな設定を変える(設定メニュー)・つづき

項目	設定内容	説明	
再生設定	可変リプレイ (p.32)	5秒	 を押したときに、戻る時間を設定します。
		10秒	
		30秒	
		1分	
		5分	
	オンスクリーンガイド	入 切	各種オンスクリーンガイドやアングルアイコンの表示をするかを設定します。
本体表示部調節	自動	再生中のみ本体表示部を暗くし、それ以外の場合は明るく表示します。	
	明	常に明るく表示します。	
	暗	常に暗く表示します。	
ネットワーク設定	ネットワーク接続設定(p.20)	設定開始	ネットワーク設定を行い、ネットワーク接続を有効にします。
		接続テスト	ネットワークが正しく接続できているか確認します。ネットワークの設定後やネットワークの設定を変更後は、接続テストを行ってください。
	ネットワークステータス表示	現在のネットワークの設定を表示します。	
	BD-Live接続設定 ・ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。(p.48)	有効	BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスを許可します。
		有効(制限つき)	証明書をもつBD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。
無効		BD-Live™コンテンツからのインターネットアクセスを禁止します。	
その他設定	パワーオンプレイ	入 切	“入”に設定していると、電源投入時に自動でディスクの再生を開始、継続します。(p.34)
		パワーオンコントロール	有効 無効
	パスワード変更		BD-Video / DVD-Videoの視聴年齢制限、BD-Live接続設定のパスワードを変更します。
	バージョン情報		現在の本体ソフトウェア(ファームウェア)のバージョンを表示します。
	ソフトウェア更新(p.22)	USB	USBメモリーを使って、本機のソフトウェアを更新します。
		ディスク	ディスクを使って、本機のソフトウェアを更新します。
	初期化	設定初期化	本機の各種設定を初期化します。ただし、“視聴制限設定”、“ネットワーク設定”は初期化されません。
		ネットワーク設定初期化	ネットワーク設定を初期化します。ただし、“BD-Live接続設定”は初期化されません。
		(本機)BDデータ消去	本機に保存されたBD-Videoデータのアプリケーションデータ(BD-Videoのゲームスコア等)を消去します。
		(USB)BDデータ消去	USBメモリーに保存されたBD-Videoデータのパーチャルパッケージ(ダウンロードしたBD-Videoの特典映像・音声・字幕等)を消去します。
		USB初期化	USBを初期化します。USBに記録された全ての情報を消去します。
	未使用時自動電源オフ	入 切	電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために約20分後に自動的に電源を切る設定です。
		テレビ画面保護	入 切
	ライセンス情報		本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

“本体設定”メニューについての補足説明

■ “映像設定”

“TV画面選択”

- 4:3 16:9 LB 16:9 PS のように、DVD-Video側で画面サイズが指定されているときは、本機で画面の種類を選んでも、違う種類で表示されることがあります。
- 正しい画面サイズ(画角、画面の縦横比)でハイビジョン映像を見るには、画面サイズを調整できるテレビでテレビ側で画角を調整してください。

■ “HDMI設定”

“HDMI解像度設定”

- “480p”以外に設定している場合、本機の映像出力端子からは“16:9”で信号が出力されます。

“HDCPオート”

- HDCP非対応機器と接続時に、“入”に設定すると、著作権フリーの映像を出力することができます。HDCP非対応機器と接続中に“HDCPオート”を“切”に設定すると、正常に映像が出力されない場合があります。その場合は、以下の操作をしてください。

- ① 本体の**[STOP]**を5秒以上長押しする(p.11)
 - “HDCPオート”が“入”に設定されます。

■ “音声設定”

“Dolby Dレンジ”

- この機能の効果は、タイトルによって異なります。

“アッテネーター”

- ANALOG OUTPUTS (UNBALANCED) / ANALOG OUTPUTS(BALANCED)端子から出力している音声にノイズがのっている場合、“アッテネーター”の設定を変更することで改善する場合があります。

■ “再生設定”

“音声言語” / “字幕言語” / “メニュー言語”

- 言語設定はBD-Video / DVD-Video側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BD-Video / DVD-Videoによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクソフトの説明書をご覧ください。
- BD-Video / DVD-Videoによっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。
- 再生中の音声 / 字幕言語の切り換えかたは(p.35)をご覧ください。

“オンスクリーンガイド”

- 「切」に設定すると以下が非表示となります。
 - 再生や停止などの操作アイコン
 - ローディング表示
 - アングルアイコン

■ “その他設定”

“パワーオンコントロール”

- “有効”に設定していると、電源「切」時に外部コントローラーからの電源「入」操作を受け付けることができます。ただし、電源「切」時の消費電力が、“無効”に設定している場合に比べて大きくなります。外部コントローラーと接続していない場合や、電源「切」時の消費電力を抑えたい場合は“無効”に設定してください。

“初期化”

- “USB初期化”や“(USB)BDデータ消去”を実行中に、USBメモリーを抜かないでください。USBメモリーのデータが破損するおそれがあります。
- 本機にブルーレイディスクが入っているときは、“USB初期化”と“(USB)BDデータ消去”もできません。
- 本機に記憶されたお客様の個人情報(登録情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含めて当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 以下の設定を初期化するには、パスワードをリセットしてください。(p.48)
 - BD視聴制限レベル
 - DVD視聴制限レベル
 - BD-Live接続設定

いろいろな設定を変える(設定メニュー)・つづき

BD-Video / DVD-Videoの 視聴を制限する

BD-Video DVD-Video

- 1 **HOME** を押し、“本体設定”→“再生設定”→“BD視聴制限レベル”または“DVD視聴制限レベル”の順に選び、**ENTER** を押す

(くわしい操作方法は(p.43)をご覧ください。)

- パスワード入力画面が表示されます。

- 2 パスワードを入力する

- パスワードの入力方法については、「パスワードを入力する」(本ページ)をご覧ください。

- 3 ▲/▼で変更したい項目を選び、設定内容を変更する

ブルーレイディスクの視聴制限レベル

“無制限” …… 制限なし

“視聴可能年齢設定” … **1** ~ **9**、**0** で年齢入力

DVDの視聴制限レベル

“無制限” …… 制限なし

“レベル8” … 弱(ほとんどのDVDが再生可能)

}

“レベル1” … 強(子供用のDVDだけが再生可能)

- 4 **ENTER** を押し、設定を完了する

BD-Live™の再生を制限する

BD-Video

- 1 **HOME** を押し、“本体設定”→“ネットワーク設定”→“BD-Live接続設定”を選び、**ENTER** を押す

(くわしい操作方法は(p.43)をご覧ください。)

- 2 パスワードを入力する

- パスワードの入力方法については、「パスワードを入力する」(本ページ)をご覧ください。

- 3 ▲/▼で“無効”を選び、**ENTER** を押す



- “有効(制限つき)”を選ぶと、BD-Live™コンテンツ制作者の証明書があるディスクのみ再生することができます。

パスワードを入力する

以下の設定をご利用いただくにはパスワードの入力が必要になります。

- BD視聴制限レベル
- DVD視聴制限レベル
- BD-Live接続設定

パスワードは上記の設定で共通です。(別々にパスワードを設定することはできません。)

- 1 パスワード入力画面が表示されたら、**1** ~ **9**、**0** でパスワード(4桁)を入力する

- 入力した数字は、“*”で表示されます。
- 4桁目の数字の入力が終わると自動で確定します。
- パスワードが未登録の場合は、2回入力が必要です。ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

入力を間違えたときは

◀/▶で“クリア”を選び、**ENTER** を押ししてください。

パスワードを忘れてしまったときは

パスワードをリセットしてから新しいパスワードを設定しなおしてください。「パスワードをリセットする」(p.48)

パスワードを変更する

- 1 **HOME** を押し、“本体設定”→“その他設定”→“パスワード変更”の順に選び、**ENTER** を押す

(くわしい操作方法は(p.43)をご覧ください。)

- パスワード入力画面が表示されます。

- 2 現在のパスワードを入力する

- パスワードの入力方法については、「パスワードを入力する」(p.48)をご覧ください。

- 3 新しいパスワードを入力する

- 4 手順3と同じパスワードを再度入力する

- 5 ◀/▶で“OK”を選び、**ENTER** を押す

パスワードをリセットする

パスワードを忘れてしまったときや以下の制限を初期化したときは、パスワードをリセットしてください。

- BD視聴制限レベル
- DVD視聴制限レベル
- BD-Live接続設定

- 1 パスワード入力画面で4737を入力する

ご注意



- “パスワード変更”で4737を入力してもパスワードはリセットされません。
- このパスワードは、視聴を制限される方にわからないようご注意ください。

■ 言語コード一覧

言語名 (順不同)	言語コード	言語名 (順不同)	言語コード	言語名 (順不同)	言語コード	言語名 (順不同)	言語コード
アフアル語	4747	グアラニ語	5360	ナウル語	6047	ティグリニャ語	6655
アブバシア語	4748	グジャラート語	5367	ネパール語	6051	トゥルクメン語	6657
アフリカンス語	4752	ハウサ語	5447	オランダ語*	6058	タガログ語	6658
アムハラ語	4759	ヘブライ語	5451	ノルウェー語*	6061	セツワナ語	6660
アラビア語	4764	ヒンディ語	5455	プロバンス語	6149	トンガ語	6661
アッサム語	4765	クロアチア語	5464	アフアン語、 オロモ語	6159	トルコ語*	6664
アイマラ語	4771	ハンガリー語*	5467	オリヤー語	6164	ツォンガ語	6665
アゼルバイジャン語	4772	アルメニア語	5471	バンジャブ語	6247	タタール語	6666
バジキール語	4847	国際語	5547	ポーランド語*	6258	トウィ語	6669
ベラルーシ語	4851	インドネシア語	5550	パシュトー語	6265	ウクライナ語	6757
ブルガリア語*	4853	国際語	5551	ポルトガル語*	6266	ウルドゥ語	6764
ビハーリー語	4854	イヌピック語	5557	ケチュア語	6367	ウズベク語	6772
ビスラマ語	4855	アイスランド語*	5565	ラエティ=ロマン語	6459	ベトナム語	6855
ベンガル語、 バングラ語	4860	イタリア語*	5566	キルンディ語	6460	ボラビュク語	6861
チベット語	4861	日本語*	5647	ルーマニア語*	6461	ウォロフ語	6961
ブルトン語	4864	ジャワ語	5668	ロシア語*	6467	コーサ語	7054
カタロニア語	4947	グルジア語	5747	キニャルワンダ語	6469	イディッシュ語	7155
コルシカ語	4961	カザフ語	5757	サンスクリット語	6547	ヨルバ語	7161
チェコ語*	4965	グリーンランド語	5758	シンド語	6550	中国語*	7254
ウェールズ語	4971	カンボジア語	5759	サンゴ語	6553	ズール語	7267
デンマーク語*	5047	カンナダ語	5760	セルビア クロアチア語	6554		
ドイツ語*	5051	韓国語*	5761	シンハラ語	6555		
ブータン語	5072	カシミール語	5765	スロバキア語*	6557		
ギリシャ語*	5158	クルド語	5767	スロベニア語	6558		
英語*	5160	キルギス語	5771	サモア語	6559		
エスペラント語	5161	ラテン語	5847	ショナ語	6560		
スペイン語*	5165	リンガラ語	5860	ソマリ語	6561		
エストニア語	5166	ラオス語	5861	アルバニア語	6563		
バスク語	5167	リトアニア語	5866	セルビア語	6564		
ペルシャ語	5247	ラトビア語、レット語	5868	シスワティ語	6565		
フィンランド語*	5255	マダガスカル語	5953	セストゥ語	6566		
フィジー語	5256	マオリ語	5955	スンダ語	6567		
フェロー語	5261	マケドニア語	5957	スウェーデン語*	6568		
フランス語*	5264	マラーラム語	5958	スワヒリ語	6569		
フリジア語	5271	モンゴル語	5960	タミール語	6647		
アイルランド語*	5347	モルダビア語	5961	テルグ語	6651		
スコットランド ゲール語	5350	マラータ語	5964	タジク語	6653		
ガルシア語	5358	マレー語	5965	タイ語	6654		
		マルタ語	5966				
		ミャンマー語	5971				

メモ

AUDIO SUBTITLE

●  または  を押したとき、*の付いている言語はそれぞれの言語名が表示され、それ以外の言語は“---”で表示されます。

ロック機能を使う

ロック機能を使うことで、ディスクトレイの開閉、リモコンや本体ボタンからの操作をロックすることができます。

1 本体の[SHIFT]と[OPEN/CLOSE]を同時に押す

- 現在のロック状態が本体ディスプレイに表示されます。

2 本体の[SHIFT]を押したまま、再度[OPEN/CLOSE]を押す

- 押すたびにロック状態が切り換わります。
- ロックしたい機能が本体ディスプレイに表示されるまで、[SHIFT]を押したまま繰り返し[OPEN/CLOSE]を押してください。

本体ディスプレイ表示	ロック状態
 OFF	ロック解除
↓	
 TRAY	ディスクトレイロック
↓	
 PANEL	本体ボタンロック*
↓	
 REMOTE	リモコンロック
↓	
 RMT+PNL	リモコン+本体ボタンロック*
↓	
 RMT+TRAY	リモコン+ディスクトレイロック
↓	
 OFF	ロック解除
↓	

※ 本体ボタンがロックされているときでも、本体の[SHIFT]と[OPEN/CLOSE]の同時押しは有効です。

ロック状態のときに

各ロック状態のときに、ロックしている操作をしようとした場合、その操作は実行されず、本体ディスプレイに“LOCKED”と表示されます。

 LOCKED



















メモ

- ディスクトレイが開いているときに“ディスクトレイロック”または“リモコン+ディスクトレイロック”を設定した場合、1度だけディスクトレイを閉じる操作は可能です。その後、ディスクトレイはロックされます。
- ロック状態のまま電源「切」にした場合、ロックしている操作であっても電源を入れる操作だけは可能です。起動後はロック状態を維持しています。

参考資料

アスペクト比(画面比)について

アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比で、4:3と16:9(ワイド)があります。

接続するテレビ	"TV画面選択"	画面の見えかた (上:4:3映像の場合、下:ワイド映像の場合)	
 <p>16:9のテレビ</p>	"4:3レターボックス"		画面全体に表示します。
			上下方向に黒い帯を表示します。
	"4:3パンスキャン"		画面全体に表示します。
			左右を一部カットして表示します。
	"16:9ワイド"		画面全体に表示します。
			入力信号通りのアスペクト比で表示します。
	"16:9シュリンク"		4:3を維持して、縮小表示します。
			入力信号通りのアスペクト比で表示します。
 <p>4:3のテレビ</p>	"4:3レターボックス"		入力信号通りのアスペクト比で表示します。
			上下方向に黒い帯を表示します。
	"4:3パンスキャン"		入力信号通りのアスペクト比で表示します。
			左右を一部カットして表示します。
	"16:9ワイド"		入力信号通りのアスペクト比で表示します。
			16:9を4:3に縮小表示します。
	"16:9シュリンク"		縮小表示します。
			16:9を4:3に縮小表示します。

メモ

- 720p/1080i/1080p/1080p24で出力している場合は、“TV画面選択”設定にかかわらず、16:9シュリンク設定のみ有効です。
- 市販のディスクソフト再生時は、設定に関わらず、4:3パンスキャンでも、4:3レターボックスとして表示されることがあります。
- 再生するコンテンツによっては、この表のとおり映像が表示されない場合があります。

参考資料・つづき

本機で使われるソフトウェアの ライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機は、米国「Free Software Foundation, Inc.が定めたGNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2及びGNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます。))に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

ホームページアドレス

<http://www.teac.co.jp/support/opensource/index.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、ホームメニュー画面の“本体設定”→“その他設定”→“ライセンス情報”に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。(ティアック以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。)

当該ソフトウェアモジュールについては、ティアック以外に、別途著作権者その他の権利を有するものがあり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証(明示するもの、しないものを問いません。)をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュールおよびその使用に関して生じたいかなる損害(データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインターフェースの不適合化等も含まれます。)についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用を負担いたしません。

著作権・登録商標について

● 保護されたコンテンツを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。

● 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておられません。

- AVC規格に準拠する動画を記録する場合
- 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

● This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. The use of Rovi Corporation's copy protection technology in the product must be authorized by Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

● Cinavia™

Cinaviaの通告

この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com>のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporation(ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。

Copyright 2004-2016 Verance Corporation.すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY AUDIO™

- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.



- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray (ブルーレイ)、BD-Live™、BONUSVIEW™及び関連ロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。



BONUS VIEW™

- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。



- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。



- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。



- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

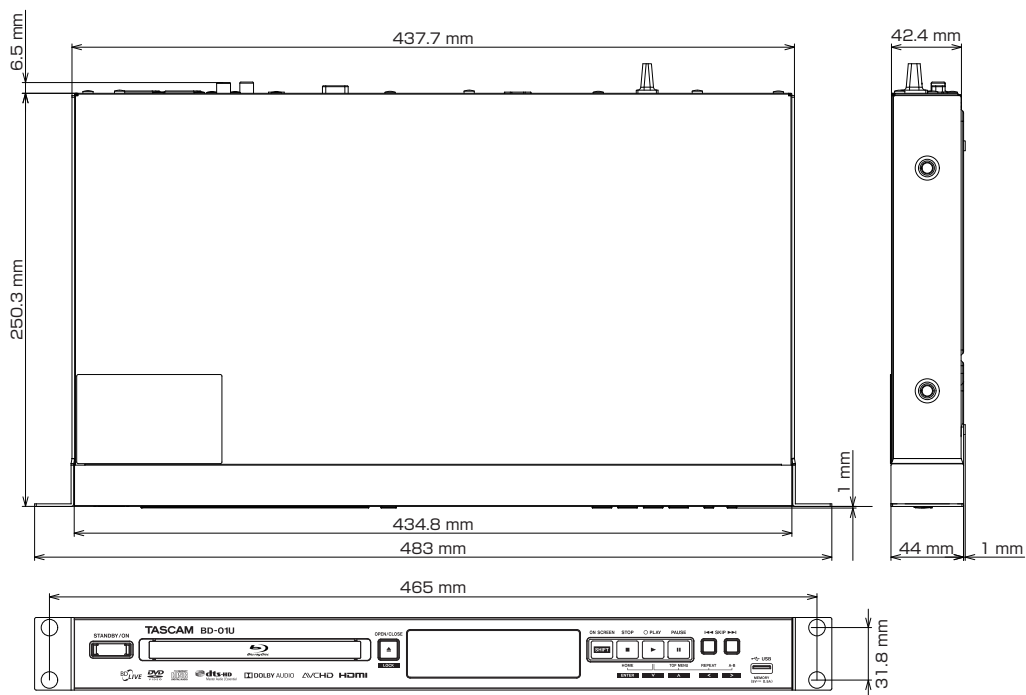
x.v.Color

- Windows Media is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

仕様

モデル名	BD-01U
一般	
信号方式	NTSC方式
電源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消費電力	12 W
許容動作温度	5 ~ 35 °C
許容湿度	最大80 % (結露なきこと)
外形寸法	483(幅) × 45(高さ) × 257.8(奥行)mm(突起部含む)
質量	2.26 kg
端子部	
HDMI出力	HDMI OUTPUT端子 19ピン Type A 映像 : 480p、720p、1080i、1080p、1080p 24 / 音声
アナログ音声出力	ANALOG OUTPUTS [UNBALANCED] 端子 コネクター : RCAピンジャック 基準出力レベル : -10 dBV (0.316 Vrms) 最大出力レベル : +6 dBV (2.0 Vrms) 出力インピーダンス : 200 Ω ANALOG OUTPUTS [BALANCED] 端子 コネクター : XLR-3-32 (1:GND, 2:HOT, 3:COLD) 基準出力レベル : +4 dBu (1.23 Vrms) 最大出力レベル : +20 dBu (7.75 Vrms) 出力インピーダンス : 100 Ω
デジタル音声出力	DIGITAL OUTPUTS [COAXIAL] 端子 コネクター : RCAピンジャック 対応信号フォーマット : IEC-60958-3民生用規格準拠 (S/PDIF) 出力インピーダンス : 75 Ω DIGITAL OUTPUTS [OPTICAL]端子 コネクター : オプティカル 対応信号フォーマット : IEC-60958-3民生用規格準拠 (S/PDIF)
USB端子	USB2.0準拠 Type A DC 5 V 最大 500 mA
ETHERNET端子	10 BASE-T/100 BASE-TX
RS-232C	シリアル制御端子 D-sub 9ピン RS-232C準拠
オーディオ性能	
BD リニア音声	4 Hz-88 kHz (192 kHz)
DVD リニア音声	4 Hz-44 kHz (96 kHz)、4 Hz-22 kHz (48 kHz)
音楽CD	20 Hz-20 kHz (44.1 kHz)
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz、±1.0dB(再生時、JEITA)
歪率	0.01 %以下(再生時、JEITA)
S/N比	90 dB以上(再生時、JEITA)
ダイナミックレンジ	90 dB以上(再生時、JEITA)
チャンネルセパレーション	90 dB以上(再生時、JEITA)

寸法図



取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

困ったときは

あれ？おかしいな？と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

- 本機と接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

おかしいな？と思ったときの調べかた

- 1 まずは、次ページからの「こんなときは(症状) - ここをお調べください(原因と対応のしかた)」をご覧ください。現在の症状と対応のしかたをお調べください。

それでも直らないときは



- 2 機器内部に何らかの異常が発生している可能性があります。このような場合、強制的に電源を切る仕組みになっています。

ディスクやUSBメモリーが取り出せる場合は、先に取り出しておいてください。

- ① 本機の電源を切ることができる場合は、本体前面の[STANDBY/ON]ボタンを押して本機の電源を切る([STANDBY/ON]ボタンを10秒以上長押しすると、強制的に電源を切ります。)
- ② 本機の電源プラグを電源コンセントから抜いて、数秒間待つ
- ③ 本機の電源プラグを再度電源コンセントに差し込む(本機が通電状態になります。)
- ④ 電源を入れて、動作を確認する

それでも、まだ不具合があるときは




- 3 本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 電源

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
電源が入らない。	● 電源コードのプラグが電源コンセントから抜けていませんか？	15
	● リモコンの乾電池が消耗していませんか？	16
	● 機器内部に何らかの異常が発生している可能性があります。このような場合、強制的に電源を切る仕組みになっています。 → 「おかしいな?と思ったときの調べかた」(p.56)の手順2以降を行ってください。	56
電源を入れると、“初期設定”画面が表示される。	● 接続が終わって初めて電源を入れたときは、“初期設定”画面が表示されます。	18
テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れる。本機の電源を入れると、テレビの電源も自動的に入る。	● CECリンク機能対応テレビと組み合わせて、本機のCECリンク制御を設定しているときは、テレビの電源と本機の電源が連動して自動的に入/切します。(お使いのテレビによっては、自動的に電源が「入」にならないものもあります。)	19
勝手に電源が切れる。	● “未使用時自動電源オフ”機能が設定されていませんか？	46
	● 機器内部に何らかの異常が発生している可能性があります。このような場合、強制的に電源を切る仕組みになっています。 → 「おかしいな?と思ったときの調べかた」(p.56)の手順2以降を行ってください。	56
電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかる。	● システムの終了や情報の更新を行うため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。	—

■ 本機の実操作全般

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
本機が動かない。 本機の実操作ができない。	● その操作が禁止されているときは、“  ”またはメッセージが表示されます。	23
	● リモコンの乾電池が消耗していませんか？	16
	● ご購入後に初めて電源を入れたときは、“初期設定”画面が表示されます。	18
	● “初期設定”実行中は、再生できません。	—
	● 機器内部に何らかの異常が発生している可能性があります。このような場合、強制的に電源を切る仕組みになっています。 → 「おかしいな?と思ったときの調べかた」(p.56)の手順2以降を行ってください。	56
	● 本体ディスプレイに“LOCKED”と表示されていませんか？ → リモコンや本体ボタンからの操作がロックされています。ロックを解除してください。	50
	● パワーオンプレイ機能を使用していませんか？ → ディスクトレイを開け、機能を一時的に解除し、“パワーオンプレイ”を“切”に設定してください。	34
本機の実設定画面やサブメニューが選べない。 表示されない項目がある。	● 設定や項目の実操作ができないときは、選べない場合や、表示されない場合があります。	—
	● テレビの入力切替が、本機を接続した入力に設定されていますか？	—
本機が正常に動作しない。	● 結露が起きているいませんか？ → 電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。	—




困ったときは・つづき

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
ディスクトレイの開閉ができない。	● 本体ソフトウェア(ファームウェア)更新中はディスクトレイの開閉ができません。	—
	● 本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなることがあります。 → 「おかしいな?と思ったときの調べかた」(p.56)の手順2以降を行ってください。	56
	● 本体ディスプレイに“LOCKED”と表示されていませんか? → リモコンや本体ボタンからの操作がロックされています。ロックを解除してください。	50
ディスクを入れてから、しばらく操作ができない。	● ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	—
USB機器の操作ができない。 USB機器の内容が読めない。	● 本機で対応しているUSB機器を接続していますか?	26
	● USB端子にしっかり差し込まれていますか?	28
	● USBメモリーのフォーマット形式(ファイルシステム)を確認してください。	26
USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった。	● USB機器の再生中に接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 → USB機器を取り外して、再度接続してください。	28

リモコン

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
リモコンがはたらかない。	● リモコン受光部に向けて操作していますか?	11
	● リモコン受光部から離れたところから操作していませんか?	16
	● 乾電池が消耗していませんか?	16
	● 乾電池の向き(⊕と⊖)が正しいか確認してください。	16
	● 本体ディスプレイに“LOCKED”と表示されていませんか? → リモコンや本体ボタンからの操作がロックされています。ロックを解除してください。	50
	● パワーオンプレイ機能を使用していませんか? → ディスクトレイを開け、機能を一時的に解除し、“パワーオンプレイ”を“切”に設定してください。	34

再生

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
再生できない。 再生画面が出ない。	● テレビの入力切替が、本機を接続した入力に設定されていますか?	17
	● 本体の[PAUSE]を5秒間長押ししてください。“HDMI設定”の“解像度設定”を初期値(“自動”)に戻すことができます。	11
	● 視聴制限を解除するか、視聴制限レベルを変更してください。	48
タイトルの最初から再生が始まらない。	● つづき再生(レジュームポイント設定状態)になっていませんか?	31 38
映像や音声が一瞬止まる。	● 2層ディスクの再生中は、1層目と2層目が切り換わるときに映像や音が一瞬止まることがあります。	41
画面サイズがおかしい。	● “TV画面選択”をテレビの形状に合わせて選択していますか?	43
	●    のように、DVD側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。	43
再生中に操作ができない。	● ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	—
	● ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。	—

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
タイトルを選択しても再生が始まらない。	● 視聴制限によって再生を禁止している可能性があります。視聴制限レベルの設定をご確認ください。	48
"⊘"が表示される。	● 再生中のコンテンツで禁止されている操作です。	23
MP3/WMA/WAV/JPEGファイルが見つからない。	● 最大ファイル数を超過していないかご確認ください。 ● MP3ファイルの拡張子が(.mp3 / .MP3)になっていますか？ ● WMAファイルの拡張子が(.wma / .WMA)になっていますか？ ● WAVファイルの拡張子が(.wav / .WAV)になっていますか？ ● JPEGファイルの拡張子が(.jpg / .JPG / .jpeg / .JPEG)になっていますか？	40 — — —
再生中に一瞬画像が止まる。	● 本機で対応しているディスクかご確認ください。 ● ディスクにキズがあったり、指紋などで汚れている場合は、正常に再生できない場合があります。ディスクを清掃したり、キズのないディスクと取り換えて再生してください。 ● ディスクに記録されたデータに問題がある可能性があります。	25 — —
再生中の映像が乱れる。	● 早送り／早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。	—
再生中の映像が映らない。	● 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか？	—
再生中の色がおかしくなる。	● 本機とテレビの電源は入っていますか？ ● 接続をしている機器の接続をご確認ください。 ● 本機で対応しているディスクかご確認ください。 ● 本機が対応していないディスクや、異なるリージョンコードのディスクが入っていませんか？ - 本機が対応しているリージョンコードは、BD-Videoは「A」または「リージョンフリー」、DVD-Videoは「2」または「ALL」です。 ● テレビは HDCP に対応していますか？ - HDCP に対応していない場合、正常に映像が出力されません。お手持ちのテレビや AV アンプなどについては取扱説明書をご覧ください。 - HDCP 非対応テレビでも、著作権フリーの映像であれば、「HDCP オート」を「入」に設定することで正常に映像が出力されます。	— — 25 25
	● 電源を入れたまま、HDMI ケーブルをテレビと本機から抜き挿ししてみてください。	—
	● 別の HDMI ケーブルに取り替えて、接続しなおしてください。	—
	● 「映像設定」の設定をご確認ください。	43
字幕が出ない。	● 字幕情報がないタイトルについては、字幕を切り換えるできません。	—
AV アンプから音が出ない。	● AV アンプの電源が入っているかご確認ください。 ● AV アンプの出力が正しいかご確認ください。(詳しくは、AV アンプの取扱説明書をご覧ください。) ● AV アンプがビットストリームまたは LPCM に対応しているかご確認ください。(詳しくは、AV アンプの取扱説明書をご覧ください。対応している場合は、本機の「HDMI 設定」から「音声出力設定」を設定してください。) ● AV アンプの音量を調節してください。	— — —
カメラアングルが切りかわらない。	● 複数のアングルが記録されていない BD-Video または DVD-Video は、アングルを切り換えられません。 ● カメラアングルが切り換え可能な場面以外では、切り換えるできません。	— —
ハイビジョン画質で見ることができない。	● ハイビジョンで記録されたタイトルかご確認ください。(ハイビジョンで記録されていない映像を、ハイビジョン画質で見ることができません。) ● 本機と接続しているテレビがハイビジョンに対応しているかご確認ください。	— —
ディスクの写真や画が再生できない。	● ディスクが UDF、ISO9660 または JOLIET フォーマットで記録されたものであるかご確認ください。	—

困ったときは・っづき

■ HDMI機器制御

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
HDMI機器制御がはたらかない。	● HDMI機器制御は、本機と対応機器を組み合わせ、必要な設定を行っている場合だけ使えます。	19
	● HDMI機器制御が有効な状態で、本機の電源プラグやHDMIケーブルを抜いた場合は、HDMI機器制御が無効となります。 → 電源コードやHDMIケーブルを接続後、“HDMI設定” – “HDMI機器制御”の設定を一度“切”に変更して決定したあともう一度設定を“入”に変更して決定すると、再びHDMI機器制御が有効になります。	19

■ ネットワーク

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
ネットワークに接続できない。	● モデムやルーターの電源が入っているか確認してください。	—
	● モデムやルーターのインターネットランプが点灯しているか確認してください。	—
	● 本機のネットワーク設定を確認してください。	20
	● 本機とルーターが正しく接続できているか確認してください。	15
	● ルーターのDHCP機能を「入」に設定してください。	—

■ その他

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
パスワードを忘れた。	● パスワード入力画面が表示されたときに、4737を入力してください。パスワードと制限設定値がクリアされます。(このパスワードは視聴を制限される方にわからないようにご注意ください。)新しいパスワードを作成し、設定しなおしてください。	48

用語説明

■ あ

アッテネーター (p.44)

- 強すぎる音声信号を適正な信号レベルに落とすための機能(減衰器)のことです。信号レベルを落とすことで、音声品質が改善される場合があります。

インターレース(飛び越し走査)(p.44)

- テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、1つの画像(有効走査線)を1本飛ばしの半分ずつ2回に分けて表示します。これにより、1つの画像を1/30秒(30コマ/秒)で映します。

■ か

拡張子(p.38)

- ファイル名の末尾につけられた文字列のことで、各種ファイルの属性を識別します。

■ さ

サブサンプリング(p.40)

- JPEG ファイルを圧縮する処理のことで、色の情報を間引いて容量を小さくすることです。

視聴制限(パレンタルレベル)(p.45)

- デジタル放送やソフト側で設定された、視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないようにすることができます。

■ た

タイトル(p.27)

- ディスクに記録された番組などの大きな区切りのことです。

チャプター (p.27)

- タイトルの中の小さな区切りのことです。

ディープカラー (p.44)

- ディープカラーに対応した機器同士をHDMIケーブルで接続したときに、映像を高階調表示に変換してグラデーションの色の変化をなめらかに表現できる技術のことです。

トラック(p.27)

- 音楽用CDの曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

■ は

バーチャル・パッケージ(p.37)

- 一部のBD-Videoでは、他のメディア(ローカルストレージ)にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャル・パッケージと呼んでいます。データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Videoによって異なります。

パンスキャン(p.43)

- 標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

ビットストリーム(p.44)

- 圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

ブロードバンド(p.14)

- 高速かつ大容量のデータ通信を可能にする帯域幅の広いネットワーク回線や通信環境のことです。

プログレッシブ(順次走査)(p.44)

- テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線)を一度に表示し、1/60秒(60コマ/秒)で映します。インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

ブロックノイズ(p.41)

- 電気信号の乱れにより発生するノイズの一種で、モザイク状の画像の乱れのことです。

プロバイダー (p.14)

- インターネットサービスプロバイダーの略称でISP(Internet Service Provider)とも呼ばれます。各端末からインターネットへの接続を供給するために運営される電気通信事業者のことです。

本体ソフトウェア(ファームウェア)(p.22)

- 本機の動作に必要な処理を行うための中枢的なプログラム(ソフトウェア)です。

■ ま

モデム(p.14)

- デジタルデータを音声信号に変換して電話回線に流したり、電話回線を通じて聞こえてくる音声信号をデジタルデータに変換したりするデータ回線終端装置です。

■ ら

リージョンコード(再生可能地域番号)(p.25)

- BD-VideoやDVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号が分けられており、これらをリージョンコードと呼びます。日本の場合、BD-Videoは「A」、DVDVideoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生することができます。

ルーター (p.15)

- 複数のネットワーク間でのデータ通信を中継するための機器のことです。

レジュームポイント(p.31、38)

- 再生中に停止したときの停止位置を記憶します。

レターボックス(p.43)

- 標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の左右方向が画面いっぱいに表示され、上下方向に帯がつかます。

■ ABC

ADSL(p.14)

- 一般の電話回線を使うブロードバンドの一種で、音声信号より高い周波数帯で高速通信を行うために開発された技術です。

AVCHD(p.25)

- ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに記録できるように開発された規格です。

AVアンプ(p.13)

- 様々な音響機器、映像機器を接続し、集中的にコントロールできる機能を備えたアンプです。

BD-Live™(ビーディーライブ)(p.14)

- BD-Live™は、BD-Video(BD-ROM Profile 2.0)の新しい再生機能で、インターネットに接続し追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-Jによる通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

用語説明・つづき

Dolby Audio - Dolby Digital(ドルビーデジタル)(p.13)

- Dolby Audio - Dolby Digitalは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度(ビットレート)の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

Dolby Audio - Dolby Digital Plus(ドルビーデジタルプラス)(p.13)

- Dolby Audio - Dolby Digital Plusは、Dolby Audio - Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

Dolby Audio - Dolby TrueHD(ドルビートゥルーエイチディー)(p.13)

- Dolby Audio - Dolby TrueHDは、DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

Dolby D(ドルビーダイナミック)レンジ(p.43)

- Dolby Audio - Dolby Digitalで記録されたタイトルの音声レベルの最小値と最大値の差のことをいい、夜間などに音量を下げて小さい音にしたときでも聞きやすく再生することができます。

DTS®(p.41)

- DTS社が開発した、デジタル音声システムです。DTS対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD®(p.41)

- DTS®をさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来のDTS対応アンプでもDTS®として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

FAT16 / FAT32(p.26)

- ファイルシステムと呼ばれるUSBメモリーなど記録媒体で初期化する際に選択できるデータ管理方式です。一つの領域に確保される容量がそれぞれ異なります。

HDCP

- HDCPは「High Bandwidth Digital Content Protect」の略でDigital Content Protection, LLC社がライセンスを有する高信頼著作権保護技術のことです。通常、HDCPコンテンツを再生する場合、テレビ側もHDCPに対応している必要があります。本機では、著作権フリーのコンテンツを再生する場合に限り、HDCP非対応のテレビに映像・音声を送ることができる設定(“HDCPオート”)(p.44)を用意しています。

HDMI(p.13)

- High Definition Multimedia Interfaceの略で、テレビなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインタフェースです。映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続できます。

HDMI機器制御(p.19、44)

- HDMIケーブルを使って対応機器とつなぐことで、機器との連動操作が行えるようになる機能です。

JPEG(ジエイペグ)(p.38、40)

- Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。ファイル容量を小さくできる割に画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

LPCM

- PCMはPulse Code Modulationの略で、LPCMはデジタル音声をそのまま圧縮せずに記録する方式です。

MPEG(エムペグ)

- MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。

NTSC(p.25)

- 日本やアメリカなどで採用されているカラー放送方式です。ヨーロッパなどで採用されているPALまたはSECAMなどのカラー放送方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ったDVD-Videoはこのカラー放送方式やリージョンコードの違いにより、視聴できないことがあります。

USB(p.26)

- Universal Serial Busの略で、周辺機器を接続するためのインタフェースです。本機では、USBメモリーを接続して、写真(JPEG)の再生ができます。

Video(ビデオ)方式

- DVDレコーダーの基本記録方式です。ディスクをファイナライズすることで市販のDVD-Videoと同じ記録方式となり、多くのプレーヤーやレコーダーで再生できます。

VR(ビジュアル)方式

- DVD Video Recording formatの略で、DVDレコーダーの基本記録方式です。ディスクをファイナライズすることで、VR方式対応のプレーヤーやレコーダーで再生できます。

さくいん

■ あ

アスペクト比..... 51
 アンクル
 アングルアイコン..... 36
 再生中の切り換え..... 36

■ い

一時停止..... 32

■ お

音楽用CD..... 26
 音声・音声言語
 音声言語設定..... 45
 音声設定..... 47
 再生中の切り換え..... 35

■ か

画質の切り換え(超解像設定)..... 36
 可変リプレイ(再生を少し戻す)..... 32
 画面表示の見かた..... 23

■ け

結露(露付き)..... 6
 言語コード一覧..... 49

■ こ

コマ送り..... 32

■ さ

サーチ..... 34
 再生
 パワーオンプレイ..... 34
 再生設定..... 45. 46

■ し

視聴制限
 BD視聴制限レベル..... 45. 48
 DVD視聴制限レベル..... 45. 48
 字幕切換..... 35
 初期化
 設定項目..... 46
 ネットワーク設定..... 46
 初期設定..... 18

■ す

スキップ..... 32
 スチルモード..... 43
 スロー再生..... 32

■ せ

セカンダリ音声..... 44
 セカンダリビデオ..... 37
 接続
 AVアンプ..... 13
 USBメモリ..... 28
 テレビ..... 13
 電源コード..... 15
 ネットワーク..... 14
 設定メニュー
 項目と設定内容..... 43
 設定のしかた..... 43

■ そ

ソフトウェア
 ソフトウェア更新..... 22. 46

■ ち

超解像設定..... 36

■ て

ディスク
 構成区分..... 27
 ディスクについて..... 25
 ディスクのメニュー..... 29
 ディスクを入れる..... 28
 ディスクを取り出す..... 28
 テレビ画面保護..... 46

■ ね

ネットワーク接続設定..... 20. 46

■ の

ノイズリダクション..... 36

■ は

バーチャル・パッケージ..... 61
 パスワード変更..... 48
 早送り/早戻し..... 32
 早見再生(音声付早送り)..... 32
 バンスキャン..... 51

■ ひ

ピクチャー・イン・ピクチャー..... 37

■ ほ

ポップアップメニュー..... 29
 本体
 前面..... 11
 背面..... 12

■ み

未使用時自動電源オフ..... 46

■ め

メディア
 本機で使えるメディア..... 25

■ り

リピート再生..... 33
 リモコン
 乾電池の入れかた..... 16
 ボタン名と働き..... 10

■ れ

レジュームポイント
 USBメモリ..... 39
 レターボックス..... 51

■ A

AVCHD..... 61

■ B

BD-HD音声設定..... 44
 BD-Live™..... 14. 61

■ D

Dolby Audio - Dolby Digital,
 Dolby Audio - Dolby Digital Plus,
 Dolby Audio - Dolby TrueHD..... 62
 Dolby Dレンジ..... 62
 DTS®..... 62

■ H

HDMI制御..... 19. 44
 HDMI接続設定..... 44

■ J

JPEG..... 38

■ L

LPCM..... 62

■ M

MPEG..... 62

■ S

SDカードについて..... 26

■ T

TV画面選択..... 51

■ U

USB機器
 USB機器について..... 26
 再生する..... 38
 最大認識可能数..... 40

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

